

No.	団体名	項目 1 等々力緑地における貴団体の現在の活動状況	項目 2 今後の等々力緑地の再整備の内容や利用方法等についての意見	項目 3 その他、等々力緑地再編整備実施計画改定に向けた意見
1	川崎フロンターレ	○プロサッカークラブ運営に関わる各活動のメイン会場として利用（主なもの） ・プロサッカー試合興行：等々力陸上競技場及び周辺公園施設を利用 ・育成年代トップレベルのサッカー試合開催：同上 ・イベント（ファン感謝デー等）の実施：同上 ・育成年代サッカーチームの練習及び公式戦：等々力第1サッカー場等を利用 ○地域・行政等と連携した企画の実施（主なもの） ・プロサッカー試合との併催企画 地場飲食の販売、市内町工場によるものづくりイベント、市内相撲部屋コラボ、川崎風物ハロウィーン、東日本大震災被災地物産展 等 ・SDGs関連企画 C02削減エコ企画、赤十字及び川崎市とのコラボによる献血協力、広域避難所での宿泊体験・防災啓発、救命救急講習会、障がい者就労体験、センサリールーム企画 等 ・川崎市による公園の賑わい創出取組への協力 生田緑地の「そら（宙）と緑の科学館」プラネタリウムや「藤子・F・不二雄ミュージアム」コラボ、宝探しイベント 等 ・サッカー教室、サッカー大会開催 ○川崎市とどろきアリーナの指定管理（共同事業体の構成団体）（主な業務） ・フットサル教室 ・プロサッカークラブの特色（選手、マスコット、アトラクションツール等）を活用した賑わいづくりイベント実施	弊クラブは「スポーツの力で、人を、街を、もっと笑顔に」というミッションを掲げている。川崎市の掲げる「ともにつくる 最幸のまち かわさき」、「Colors, Future! いろいろって、未来。」、「スポーツのまち・かわさき」、「SDGs未来都市かわさき」等々の各政策・計画等と連携して、ホームタウン川崎をさらに素敵なまちにしていくことを考えている。再編整備については、下記のような構想を抱いている。 ■テーマ：「“つながる”公園」（スタジアムも含む） ▽「等々力⇨等々の力⇨いろいろな力」。『いろいろ』を連動させて“つながり”をつくる。 ▽夢・憧れ・目標・趣味・知識・未知・活動・仲間・まち等とつながる場所をつくる。 ■「“つながる”公園」の達成に向けて ▽公園としての基本的な機能の充実 「安心」「快適」「憩い」「楽しさ」「利便性」等 ＜園内＞○ベリファリー○緑（木陰、原っぱ、桜並木、花畑、水辺、自然観察）○便施設（売店、飲食店、フロンターレ・サイクリングステーション、温浴施設等）○照明（園路、施設）○憩いの場所（施設、居心地のいいベンチ等）○清潔感○人の存在（利用者、施設スタッフ、案内所、園内放送等）←安心、防犯にも有効○市民自主運営活動の場所 ○情報発信（掲示板、パンフレット、公園だより、ウェブサイト等）○公園利用と車両通行の分離←安全・安心、憩いのため○気軽に利用できる運動器具・広場・施設○遊具等の遊び場○グランドやフィールド・アスファルトのような自然と触れ合える遊び場○ウォークストリート・スポーツ施設○健康器具・施設○大規模催事（スポーツ等）の会場○市民スポーツ活動の会場（複数）○市民催事（祭、市民活動等）の会場（大、小、屋外、屋内）○音楽・芸術活動の場所○社交場○釣り○ドッグラン○ストリートカルチャー○十分な駐車場、駐輪場の設置及び適切な配置○レインサイクリン○避雷針等の危険回避設備○熱中症対策設備○広域避難所としての災害対応、防災啓発活動○適切なメンテナンス、清掃 etc. ＜園外＞○周辺道路の拡張←渋滞緩和、自転車・歩行者の安全な通行○駅からの案内・便利な交通手段etc. ▽プラスアルファの魅力 ＜園内＞○利用者増（収益増）を目的とした特別な施設や設備の設置○園内各所（広場等含む）への各種タイプの設置←さまざまな活動が実施されやすいように○各種活動が行われやすくなるよう、公園利用に関する条例・ルールの改定や特別措置○川崎市内各所の紹介、魅力PR○アゲインシーンスense etc. ▽“つながり”づくり ☆公園内で「夢」や「目標」、新たな「趣味」や「活動」、「仲間」とつながる仕掛けと活動を用意 例1）園内で飲食→フードゾーン→サッカートリainingで遊ぶ→サッカー教室参加→スクール入会→ファミリー入団→プロ選手に 例2）ゲームセンターをプレー→ゲームセンターで同世代が楽しむ→ゲームセンター体験会参加→ゲームセンター入会 ☆「まち」とのつながり ○地域活動の場の提供○近隣地域や市内の商店街等と連携した会員証やデジタル通貨○地域産業との連携企画（町工場ものづくりや名産品等の催事・出店、PR）○地域・市内名所紹介及び企画等による訪問誘導 ☆全国、世界とのつながり ○全国規模、国際催事の実施（「大規模スポーツ施設もある 멋진」都心から最も近い”大規模都市公園”である強みを生かして）○市民に全国・世界を提供○全国・世界に川崎を紹介・披露 ☆オリンピック・パラリンピック英国代表団キャンプのレガシー ○英国大使館、ブリティッシュ・カウンシルとの連携による「英語×スポーツ」プログラム（英語力作成等。構想話し合い中）、ロンドンオリンピック公園との提携・交流○英国の世界的スポーツ大学との提携、カレッジ実施（提案中） ☆子育て支援施設や図書館等、ニーズ対応施設 ○スポーツとのコラボ等で特色付け ☆ICTの活用（園外の地域ともつなげる） ○各種案内・誘導○来園特典・サービス○セキュリティ活用→安全誘客や危機管理で役立つ施設・設備間連携 ☆通信環境の整備 ☆立ち入りたくなる雰囲気や注目を引く仕掛けのあるエントランス ☆多摩川とのつながり（物理的にも、活動的にも）、周遊道（散歩道、ジョギング・サイクリングコース） ☆分かりやすい園内動線や施設配置、案内板の設置 ☆未来につながるスキームづくり ○公園の適切な維持及び事業（＝期待）を実施・継続させるために、運営者が必要な収益を上げていくスキームづくりに十分な配慮 ■スポーツ施設不足の解消 150万都市にもかかわらずスポーツ施設が少なく、多くの市民スポーツ催事が試合数減や開催断念をせざるを得ない状況にあり、改善が望まれる。 ■陸上競技場の整備 ▽来場者に喜ばれるスタジアム ○雰囲気をつくるのは来場者。来場者が盛り上がりたないとスタジアムも面白くない中継も何も生まれない。収容人数を含む各機能が充実し、安全・快適と感じられるスタジアムに。盛り上がる「一体感」の生まれるスタジアムに。 ☆Jリーグの定めに則った席数カットで35,000席以上→観戦希望に応えられるのが、喜ばれるための第一歩目 ☆プロサッカー試合等の大規模催事に十分適した機能の設置 ○ベリファリー○トイレ（男女、多目的、LGBT対応）○売店○医務室・救護室○授乳室○おむつ交換ブース○更衣ブース○十分な広さや数のイベント実施スペース（ライオン設置）○ボックスやスタンド内通路の幅と数○入場ゲートの数・幅・造り・ファシリティ化等に対応できる必要機能の設置○場外入場待ち列対応（スペースや屋根、サービス機能）○車椅子やベビーカー利用者、高齢者、傷病者対応用エレベーター○インフォメーションセンター○チケット等取り扱いブース○座席の十分な前後左右幅○多様な来場者にやさしく、喜ばれる多様な席種○ボックス席、VIP席○アング付き席○大観衆が同時に利用できる通信環境○どの席からでも見える大型ビジョン（2基以上必要）○来場者動線上のインフォメーションボード（デジタルサイネージ）○来場者動線上のテレビ○スタジアム内すべてのエリアで確実に聞こえる音響設備○場外音響設備（各種インフォメーションや盛り上げ用、緊急放送用）○ICT導入によるスムーズな情報処理及び連携○大型照明（演出にも使用可能な機能）○来場者動線・イベントスペース等の照明○風雨・暑さ・寒さ対策○悪天候時・災害時・事故発生時の避難対応機能（屋根、動線の造り）○催事運営全スタッフ用控室（更衣、シャワー）○備品倉庫○カオスゾーンエリア（複数試合開催時または審判用）○十分な台数が収容できる関係者用駐車場・駐輪場○芝生養生用の通風機能、日照機能 etc. ※場外にも各種必要機能を設置。試合にあたっては場外も重要な開催会場の重要な一部。 ※すべて「女性の目線」を意識して計画（清潔感、快適性、気遣い）。 ※競技対応の機能については一部を除き記入なし（既存メインスタンドにおおよそあるという前提） ☆スタジアムに「一体感」を生む機能 ○フィールドの近さ：臨場感、上層スタンドのせり出し○応援の盛り上がりを生む造り：場内に響き渡る声援（場外には極力漏らさない）、つながっているスタンド、幕等の応援グッズ使用の想定○老若男女が楽しめる：ベリファリーシート、ファミリーエリア、各賑わいが各所から見える造り○試合前後の触れ合い：試合前後に選手とファン・スタッフの清々しい空間で、お互いの顔が見えて触れ合えるエリアの確保○映像演出：すべての席から見える大型ビジョン、容易に映像演出可能な機能etc. ▽市民に親しまれるスタジアム ○施設と場外を完全隔離しない「オープン」コンセプト（「物理的」にも「運営面」でも、スポーツ好きだけのための加えて施設にしない）○複合施設・複合機能（スポーツ等での全体利用はもちろん、スポーツ以外も含めた活動での部分的な利用も促進）○環境配慮・エコ（太陽光発電、雨水利用等）○広域避難所としての機能、日頃からの防災啓発、緊急時の対応を想定した公園認知度の向上施策etc.	川崎市は近年、等々力緑地のある中原区を中心に日本トップレベルの発展を遂げ、まださらなる成長を試みている都市だと考えます。 そんな川崎市は、日本中が羨むような「市民の居場所」を持つ意義がある街だと感じています。 等々力緑地は立地や面積、周辺人口、都心からの近さ等の十分なポテンシャルがあり、日々のさまざまな活動を生み出し得る場所でしょう。 検討にあたっては、まずは何が望まれるかが縛りなく議論され、理想像が描かれるのがよいと考えます。 その際、現在は応えきれていない潜在的なニーズの存在にもご配慮願いたく思います。 既存状況の継続にのみ流れることなく、新たな活気が創出されることを望みます。 どんな計画であれ着手すれば、現状に対して必ず影響は出るものでしょう。ならば、「変わって、よくなった」という声が挙がる等々力づくりに取り組んでいただきたいと思います。 弊クラブは、川崎のため、行政の政策・計画と連携してまちを盛り上げていく所存ですので、弊クラブを今後もどんどん利用していただきたいと考えております。弊クラブは「川崎の市民クラブ」として、まちに、人に、さらなる喜びをもたらすよう努めます。

関係団体等からの意見について

No.	団体名	項目 1 等々力緑地における貴団体の現在の活動状況	項目 2 今後の等々力緑地の再整備の内容や利用方法等についての意見	項目 3 その他、等々力緑地再編整備実施計画改定に向けた意見
2	川崎ブレイブサンダース	○とどろきアリーナにおけるバスケットボール興行の開催 ○とどろきアリーナにおけるバスケットボール教室とチア教室の開催（サブアリーナと体育室）	○バスケットボールの興行としてはとどろきアリーナのキャパシティが限界を迎えているため、増席もしくは改増築を検討してほしい。 ○所々施設が老朽化しており、例えばLED照明にすれば興行時の演出に幅が出るし、コスト抑制もできるので、是非検討してほしい。	どれくらいの時間軸で整備を実行されるのか、予定通りに実施されるのか。
3	富士通レッドウェーブ	とどろきアリーナをホームアリーナとしており、Wリーグのリーグ戦において、平均4試合/年間開催している。	再整備後も、引き続きホームアリーナとして利用させてほしい。	2019年の台風被害により、とどろきアリーナが水没したため、予定していたリーグ戦のホームゲーム開催が出来なかった。再整備の際には水害等の対策をお願いしたい。
4	富士通フロンティアーズ	基本的に活動することはないが、等々力競技場にて2012年・2013年・2014年シーズンに、Xリーグの秋季リーグ戦を1試合/年間開催した。	アメリカンフットボールの試合開催が可能で大型映像装置（ビジョン）が設置されるスタジアムもしくは競技場が新しく整備されることがあれば、利用を検討したい。	現状の等々力競技場では、芝生のフィールドがアメリカンフットボールの仕様（面積）を満たしていない。競技場を再整備される場合は、サッカー以外の他競技が利用可能な仕様に拡大してほしい。
5	東芝ブレイブアレウス	等々力球場の利用（大会等）	等々力球場の改修がもうすぐ終わるため、大会等で「積極的」に利用したい。 ※社会人野球（神奈川だけでなく、関東連盟・日本野球連盟としても）	将来的に都市対抗予選で利用したい。5千人程度の来場者が見込まれるので、等々力までのアクセス（安全面も）を整備してほしい。
6	川崎市レクリエーション卓球連盟	—	飲食店やくつろげる場所を作してほしい。	—
7	川崎市スポーツチャンバラ協会	○「スポーツチャンバラ全国幼年大会」（サブアリーナで毎年）の開催支援を行っている。 ○体験教室を不定期開催している。	○民間提案として、大体育館の民設民営化による興行専用のアリーナ化とあるが、対象となる興行とは何を意図しているのか。 ○大体育館は、今まで川崎市の施設として各団体が利用してきたが、今後はその点がどのようになるのか。 ○民営化に伴う疲弊が生じないように、配慮されていることを期待する。	現在、バス停や各駐車場から各施設に向かう動線（歩道）には上屋が設置されておらず、車いす、ベビーカー、身体に障害を抱える方たちにとって、降雨時の施設利用には不便さが伴っている。上屋の設置等による配慮が必要なものとする。
8	川崎市スクエアダンス協会	—	—	—
9	川崎市武術太極拳協会	—	○自然災害に強い施設づくり。3.11で被災者を受け入れたように、市民が避難できる場所の提供。 ○多摩川河川敷を含めた自然豊かな公園づくり。 ○市内外から集客できるお祭りの開催及びPR。	イベント終了後の混雑解消に向けた対策が必要。
10	川崎市フォークダンス協会	とどろきアリーナの体育室を利用	身近に利用できる施設であってほしい	—
11	川崎市バレーボール協会	とどろきアリーナのメインアリーナまたはサブアリーナを使用。 ＜昨年度実績＞ 4月 高等学校バレーボールフェスティバル「和田杯」 5月 市民大会「春季9人制バレーボール大会」 8月 小学生バレーボール全国大会 8月 「6・9・混合・ソフト・ママさん大会」（協会主催） 9月 「つつじ・つばき杯ママさんバレーボール大会」 10月・11月 Vリーグ（NECレッドロケッツ） 2月 日本デフバレー大会（聴覚障害者大会） 3月 天皇杯・皇后杯（新型コロナウイルスの為中止）	屋内スポーツであるので施設の維持管理はお願いしたい。全国大会やVリーグなど、全国から集客する大会もあり、定着しているので安定的に使用させてほしい。	多くの方が訪れるが、交通の便がよくないので、路線バス発着場の整備と自家用車及び大型バスの駐車場拡大は不可欠だと思う。リラクゼーションゾーンはよくできているので、アリーナ横の自然林的な緑地は多い方がよい。
12	川崎市バドミントン協会	大会でアリーナを使用（1～2回/年）	陸上競技場内に設置予定である体育室には、バドミントンコートが10面設置できることを希望する。	フロンターレ戦が行われる時の、体育館利用者用駐車場を確保してほしい。
13	川崎卓球協会	卓球協会主催の大会として、市民大会など多数の大会でメインアリーナとサブアリーナを利用している。特に中学生大会は参加人数が千人規模と多いため施設の確保に苦慮している。市内施設で卓球台50台を設置出来るのはメインアリーナだけなので、貴重な施設として利用している。	今回の民間提案に賛成する。ただ、「体育室のコンパクト化」という運営方針について、卓球含め屋内競技が盛んな川崎市民が安心して活用できる施設運営としてほしい。	等々力緑地が県内外からたくさんの人・スポーツ愛好家が集うことのできる場所となるよう、これからの計画を実行に移してほしい。
14	川崎市テニス協会	＜各種大会＞ 市制記念テニス大会（ダブルス）、女子連川崎地区A大会（ダブルス）、ワンデービギナーズテニス大会、女子連神奈川レディース地区予選、女子連桑名杯レディース地区予選、川崎グランドシニアテニス大会、ねんりんピック川崎予選会、実業団対抗テニス大会、高体連ジュニア育成テニス講習会（中高校生）、高体連・神奈川県高校新人大会、神奈川県中学校新人テニス大会（川崎開催）、女子連全国レディース川崎予選、市民健康デーテニス教室、市民総合テニス大会（シングルス）、女子連川崎地区A大会（シングルス）、女子連川崎地区ひまわり大会、高体連・新人大会団体決勝リーグ、レディース川崎テニス大会 実業団対抗テニス大会、川崎ジュニアテニス大会、神奈川県ジュニアテニス選手権大会（参加人数：約12,280名）	現状の市内テニスコートでは身障者支援、指導者の育成及び全国レベルの大会開催等が出来ていない状況である。このため、等々力地区に大型（20面程度）テニスコートの新設又は既存テニスコート10面に加えて新たに10面程度の新設を行い、上記の課題を解決するようにお願いしたい。	新設するテニスコートの配置はブロック型とする事で、大会運営等の円滑化、空きコートの部分返却等を図ることができ、育成講習会・普及教室等の開催や一般利用者の利用拡大につなげる事ができると考える。また、新設のテニスコートは、フットサルやゲートボール等の多目的利用も考えられ、より多くのスポーツを愛好する市民の利用が図られる。
15	川崎市柔道協会	年2回の市民柔道大会を主管として開催しており、とどろきアリーナを使用することがあるが、とどろきアリーナが所有している柔道畳が旧ルール制の畳のため、積極的に使用することが出来ない。	とどろきアリーナの柔道畳を国際ルールに適応したものにしてもらい、子供から大人まで正式なルールの会場で試合をさせたい。また、関東大会・全国大会等で使用できるようにしてほしい。 （場内用畳(クリーム色)128畳、場外用畳(黄緑色)210畳、合計338畳）	とどろきアリーナには駐車場が少ない。
16	川崎市剣道連盟	とどろきアリーナ・サブアリーナ使用（剣道大会・講習会）	—	—

関係団体等からの意見について

No.	団体名	項目 1 等々力緑地における貴団体の現在の活動状況	項目 2 今後の等々力緑地の再整備の内容や利用方法等についての意見	項目 3 その他、等々力緑地再編整備実施計画改定に向けた意見
17	川崎市サッカー協会	○第1種（社会人）の市民大会（春季市民トーナメント／秋季市民リーグ） ●補助競技場／第2サッカー場：春季市民トーナメント（約42試合／年）、秋季市民リーグ（約180～200試合／年） ○第2種（高校）のフェスティバルおよび大会など ●第1サッカー場：川崎アカデミーユースサッカー大会（約15試合） ●第2サッカー場：川崎アカデミーユースサッカー大会（約15試合）、川崎カップサッカー大会（約15試合） ●等々力補助競技場：川崎アカデミーユースサッカー大会（約15試合） ●等々力陸上競技場：関東大会神奈川県二次予選（2試合／年）、全国高校総体神奈川県予選（2試合／年）、全国高校サッカー選手権大会神奈川県予選（2試合／年）、全国高校サッカー選手権大会（8試合／年） ○第3種（中学）の大会および強化育成事業 ●等々力陸上競技場：川崎カップサッカー大会（約6試合／年） ●等々力補助競技場：川崎カップサッカー大会（約8試合／年）、中学校選抜強化活動（約10日／年原則長期休業期間に実施）、スキルアップトレーニング（約4回／年原則長期休業期間に実施）、GKクリニック（約4回／年原則長期休業期間に実施） ●等々力第1サッカー場：中学校サッカー大会（約4試合／年）、ジュニアユースチャンピオンシップ（約4試合）、川崎カップサッカー大会（約8試合／年）、スキルアップトレーニング（約4回／年）、GKクリニック（約4回／年） ●等々力第2サッカー場：中学校サッカー大会（約4試合／年）、ジュニアユースチャンピオンシップ（約4試合／年）、川崎カップサッカー大会（約6試合／年）、GKクリニック（約4回／年） ○第4種年代の大会及び強化育成事業 ●等々力陸上競技場：斎藤旗春季サッカー大会（3位決定戦・決勝戦）、かわしん杯ジュニアサッカー大会（3位決定戦・決勝戦）、松村杯ブーマカップ秋季少年少女サッカー大会（3位決定戦・決勝戦） ●等々力補助競技場：斎藤旗春季サッカー大会、春季低学年サッカー大会、かわしん杯ジュニアサッカー大会、松村杯ブーマカップ秋季少年少女サッカー大会、FAリーグU-12神奈川、川崎カップサッカー大会（約24試合）、トレセンマッチデー（地区選抜研修大会）、U-12トレセン活動（約6回／年）、四市選抜研修大会（四市対抗戦） ●等々力第1サッカー場：斎藤旗春季サッカー大会（約4試合／年）、かわしん杯ジュニアサッカー大会（約4試合／年）、松村杯ブーマカップ秋季少年少女サッカー大会（約4試合／年）、川崎カップサッカー大会（約24試合）、トレセンマッチデー（地区選抜研修大会）、U-12トレセン活動（約6回／年川崎フロンターレと合同利用） ●等々力第2サッカー場：斎藤旗春季サッカー大会、春季低学年サッカー大会、かわしん杯ジュニアサッカー大会、松村杯ブーマカップ秋季少年少女サッカー大会、新人戦ジュニアサッカー大会、U-9秋季サッカー大会、U-11秋季サッカー大会、FAリーグU-12神奈川、川崎カップサッカー大会（約24試合）、U-12トレセン活動（約20回／年）、GKレベルアップスクール（約4回／年）、トレセンマッチデー（地区選抜研修大会） ●等々力運動広場・多目的広場：斎藤旗春季サッカー大会、春季低学年サッカー大会、かわしん杯ジュニアサッカー大会、松村杯ブーマカップ秋季少年少女サッカー大会、新人戦ジュニアサッカー大会、U-9秋季サッカー大会、U-11秋季サッカー大会、FAリーグU-12神奈川、川崎カップサッカー大会（約24試合）、トレセンマッチデー（地区選抜研修大会） ○その他 ●競技場・補助競技場・第2サッカー場：市長杯選抜サッカー大会	○複数のスポーツ施設が理想（会場不足の改善） 左記のとおり、当協会で実施する年間事業を運営するためには、数多くの受け口を望む。 1）サッカー場（多目的広場）の増設および人工芝化（使用率のアップ） 2）競技期施設活用のための駐車場増設および状況に応じた専用利用 3）競技施設に付属するトイレ、更衣室、シャワー室の増設と設備充実 4）診療設備の拡充、温暖化など夏場での競技実施時に具合の悪くなった観客の対応に手狭すぎる。 ○施設利用可能時間の拡大 各施設の利用可能時間枠を広げ、施設の数増加×各施設の利用可能時間による全体面積の拡張 1）夜間利用のための電灯設備（LED）の増設	○川崎市に相応しい競技場 現行では、Jリーグ開催時の競技場は、ほぼ毎試合満席である。当協会の関係者の中にはチケットが手に入らない苛立ちからの解放を望む声も聞かれ、現行2万5千人から4万人程度の競技場が理想である。 ○スポーツ／文化施設のコラボレーション 競技場の側壁などを利用した設備（会議室、図書館、駐車場など）を併設することにより、競技実施時以外の利用効率アップや空間の有効利用が実現できる。 ○広域避難場所としての受け入れ設備の充実
18	川崎市体操協会	当協会は、体操競技・新体操・一般体操の3領域で活動している。 ○体操競技：とどろきアリーナを中心に、4月と9月に市民大会を開催。参加者は300名規模。 ○新体操：11月と12月に市民大会と協会主催大会を開催。参加者は400名規模。 ○一般体操：毎年11月に体操フェスティバルを開催。高齢者の団体を中心に1400名規模が参加。また、体育室では健康体操など体力づくりを行っている。	○体操競技と新体操は、鉄棒や床など専門の器具が必要なため、大会開催できる場所が「とどろきアリーナメイン」と「カルッツかわさき」しかない。また、体操フェスティバルも参加人数が多いため、「カルッツかわさき」では十分な広さと観客席がない。さらに、「とどろきアリーナ」ではプロチームのリーグ戦が複数回組まれるため、市民大会の開催など、協会や市民が利用することが困難な状況がある。 ○とどろきアリーナの民設民営化にあたっては、利益を優先するあまり協会・市民が利用しづらいことにならないよう配慮してほしい。設備に対する理解が十分にあるスタッフが配置されないと、準備や片付けにおいて、利用団体が混乱するなど負担が大きくなるため、サービスが低下しないように民間事業者には十分な人員配置をさせることが必要。 ○陸上競技場内への体育室の複合整備にあたっては、各協会の市民大会や協会主催大会の開催の状況や参加規模・観客数を把握し、十分に大会運営ができる体育室を整備する必要がある。また、体操競技においては器具の製造メーカーや器具の保管場所などが、準備や片付けにおいて大きく影響するため、事前に当協会と協議をしてほしい。 ○会館とどろきの体育室も地域のスポーツ団体が多く利用しており、地域の交流の場となっている。小さい団体にとっては、バス停の近くで訪問しやすい場所であり、かつ利用しやすい広さのようである。会館とどろきを移転するにあたっては、その役割を十分に理解し、機能が損なわれないようにする必要がある。	○サッカーやバスケ、バレーなどプロスポーツが全国から注目され、試合時には多数の観客が訪れているが、周辺の住環境に影響が出ないのかどうか検証する必要がある。一般市民が公園を訪れても駐車場が利用できない、大勢で歩くには狭い歩道、交通渋滞、騒音の問題など考えらる。できれば武蔵小杉駅からの歩道整備やシャトルバスが必要だと思う。 ○昨年の台風19号により、水害を大きく受ける地域ということが明らかになった。水害や地震などの自然災害に対して十分な防災対策が必要。その上で、地域住民が安心して避難できる場所、防災拠点として整備していくという考え方が必要だと思う。
19	川崎市空手道連盟	とどろきアリーナで空手道大会を開催	—	—
20	川崎市ハンドボール協会	とどろきアリーナを使用している。メイン・サブアリーナ合わせて3面ハンドボールコート（正規）がとれるのは大会運営上とても助かっている。	左記のとおり、コート3面を確保できるような体育館にしてほしい。	市民にとって利用しやすい場所にしてほしい。
21	川崎市なぎなた連盟	とどろきアリーナ体育館を週1回程度利用	左記を夜間利用しているが、周囲に人が少ないことなどがあり、夜間利用後の帰宅の際に安全に不安を感じる。夜でも安心して歩けるよう再整備をお願いしたい。	多摩川の自然等を生かし、より多く人が楽しめる空間づくりをお願いしたい。
22	川崎市合気道連盟	—	—	—

関係団体等からの意見について

No.	団体名	項目 1 等々力緑地における貴団体の現在の活動状況	項目 2 今後の等々力緑地の再整備の内容や利用方法等についての意見	項目 3 その他、等々力緑地再編整備実施計画改定に向けた意見
23	川崎市ダンススポーツ連盟	○ダンススポーツ連盟指導員研修会、新規指導員講習会で第1,2研修室を1回/年使用。 ○2018年までとどろきアリーナ・メインアリーナで2回/年ダンススポーツ競技大会を実施していた。 ○2020年とどろきアリーナ・メインアリーナで三笠宮杯を実施予定。（JDSF本部主催）	○とどろきアリーナ・メインアリーナはかなり大きいので、小規模大会用にカルツククラスの体育室があると良い。 ○メインアリーナはダンスシューズで傷がつくと言われ、パネルを敷いている。東京都のようにパネルなしで競技をしたい。 ○メインアリーナのエレベーターは油圧式の為、利用が制限されている。普通の物にしてほしい。	○中原からの徒歩によるアクセスが悪いので整備してほしい。 ○とどろきアリーナのグリーンシートは古くて汚れているので、きれいにしてほしい。 ○テーブルや椅子が古くて重い。移動設置がしやすいタイヤ付きで軽いものにしてほしい。 ○駒沢公園のように市民の憩いの要素を充実してほしい。 ○とどろきアリーナの空調費、電気代が高い。
24	川崎市綱引連盟	サブアリーナで神奈川県綱引選手権大会を開催している。	最寄り駅からの交通手段（便数）を検討してほしい。	災害時の避難場所に指定されているが、避難者用施設及び防災保管倉庫を検討してほしい。
25	川崎チアリーディング協会	とどろきアリーナを夏季県大会、サマーキャンプ、ワンデイクリニック（一日安全技術講習会）で利用している。また、市教委の青少年フェスティバルで演技している。	積極的に賛成する。	積極的に賛成する。
26	川崎市障害者スポーツ協会	等々力陸上競技場を年に数回使用し、陸上大会、練習会、講習会等を実施	実際に障害当事者が利用しやすいよう、細部への配慮をお願いしたい。	早く良い状態で各施設を利用できるようにしていただきたい。
27	川崎野球協会	○毎年事業計画を作成し、市内の市営球場及び河川敷球場を利用して、一般・還暦・古希・少年等の試合を開催 ○川崎市予選大会、県予選大会、県大会等を開催 ○活動期間としては、2月から翌3月まで（12月、1月は休み）各種大会に使用。なお、球場解体前までは等々力球場、市民広場（球場）の2会場を使用していた。	○今後の課題として、使用する際の申込みから使用許可を得るまでの手続き等を簡素化してほしい。 ○現在のふれあいネットで球場を確保するような方法は公平ではないと思うのでやめてほしい。 ○市内の硬式球場（市営）が等々力球場のみであるため、高校生に特段の配慮をしてほしい。	○大規模災害時の避難場所等に活用 ○各種災害時における資器材の確保 ○各種災害時における衣食住の（仮設）の確保 ○上記3つの非常時に活用・運用できる人材を常駐 ※その他、各団体の代表者を含めた会議の開催を希望する。取り急ぎ、等々力球場の見学をさせてほしい。
28	川崎市陸上競技協会	等々力陸上競技場を使用し、次の競技会等を開催している。 ○市内小・中・高等学校生及び市民愛好家を対象とした陸上競技大会（年8日） ○中学校陸上競技部生徒を対象とした陸上競技大会（年4日程度） ○高等学校陸上競技部生徒を対象とした陸上競技大会（年6日程度） ○市内小学生の希望者を対象とした陸上競技教室（年10日程度） ○市内陸上競技愛好家を対象とした市陸協主催の練習会（年5日程度） 上記以外に等々力陸上競技場を使用して開催する陸上競技大会として、次のものが挙げられる。 ○神奈川県陸上競技記録会（年間2日程度） ○神奈川県高等学校総合体育大会及び新人戦競技大会（年間4日程度） ○神奈川県中学校総合体育大会陸上競技大会（県中学校体育連盟輪番により数年に1度開催） ○その他、関東学生陸上競技連盟等、他の団体から開催依頼を受ける大会（現状は日程調整が難航）	等々力陸上競技場は、本協会の活動拠点であるとともに、市内の小・中・高校・大学・社会人等の陸上競技愛好者にとって必要不可欠な施設である。 等々力緑地再整備事業は、本協会としても賛成である。その理由は次のとおり。 ○陸上競技場の改築により、競技者と観戦者がより一体となった競技会を開催することができ、競技パフォーマンスの向上や観戦する楽しさの高まり等につながり、ひいては本市の陸上競技の普及発展につながる。 ○ランニングコースの新設により、ランニングイベントの開催や市民ランナーの増加等が期待され、陸上競技愛好家の増大も期待できる。 ○等々力緑地再整備事業は、ハード面だけでなく運用等のソフト面の充実と表裏一体と捉えているため、陸上競技場の利活用がさらに進むものと期待できる。 ○サッカーとの分離が叶えば、大会等の開催日の調整が行い易くなるとともに、新たな競技大会の開催を視野に入れることもできるなど、本市における陸上競技のさらなる普及発展が期待できるため。	本協会として、標記計画改定に向け、次の点について要望する。 ○陸上競技場の整備とともに、より使い勝手の良い施設になること。（例：個人利用時における器具等の貸出及び持ち込み制限の緩和、照明付き夜間利用の実施、市内利用者と市外利用者との利用料の傾斜徴収等） ○整備工事期間中においても、安全に競技場を継続して利用できること。 ○陸上競技場の設計段階において、本協会への意見聴取に余念のないようにし、必要に応じて聴聞会等を開催すること。設計は、第1種競技場にこだわらず、利便性を考慮した第2種相当の競技場が妥当と考えられるが、観客席や室内練習場の設置等において、各競技会の開催に支障のないよう留意すること。 ○将来を見据えて、大胆でも夢のある計画を策定し、関係各所と連携を密にしながら、力を合わせて実現できるようにすること。（台風19号による被害を踏まえ、等々力緑地一帯の土地の特徴を考慮し、施設の在り方、配置の在り方等を検討する。）
29	川崎市ラグビーフットボール協会	○春季・秋季市民ラグビーフットボール大会（成年の部、マスターズ ）4日【等々力競技場、補助競技場、第一サッカー場】 ○等々力ラグビーフェスティバル（幼児、小学生、中学生、女子(小中学生)、社会人クラブチーム）2-3日【等々力競技場、補助競技場】 ○体育の日記念事業・親子ラグビー教室（市民(3歳以上)に対する普及活動）1日【補助競技場、第二サッカー場】 ○川崎市ラグビースクール（ラグビーを通じた幼児・小学生・中学生 対象の青少年育成活動）35-50日【等々力競技場、補助競技場、第一サッカー場】 ○等々力競技場周辺清掃活動 1日（2019年度は新型コロナで中止）	○再整備の内容及び民間提案の中に、障がい者スポーツに焦点を当てた記載がない。かわさきパラムーブメントの推進ビジョンの中に、「スポーツ振興・健康づくり」があり、施設設備との関連があるので、現段階で少なくとも再整備において障がい者についてどう考え、どう対応するのかが方針が決まっており、出来れば具体的な記載があるべき。現在、障がい者スポーツ文化センターのない川崎市としては、新たに建設する施設においては、障がい者が共存出来ることを目指した取組みが必要。審査講評に記載のある「バリアフリー」とは異なることである。今後の取組方針「(2)今後の検討事項①市の各種計画との整合性について検証を行います」の中で検討が必要ではないか。 ○等々力緑地の整備については、昭和37年から進めているが、その間南部地区カルツク・川崎スタジアム、北部の生田緑地地区の整備が進み、市内には等々力を含めた大きな三つの文化・スポーツエリアが存在するようになったが、それぞれのエリアの部分最適になっていないでしょうか。現在、北部地区は文化中心の構成になっているので、そのような位置づけとし、例えば等々力ミュージアムは災害対策も考慮して生田緑地に移設するような発想もあってよい。エリアごとに重複して整備が必要な施設設備と、市内に一か所あれば良いものを明確化すれば、敷地の有効活用が可能である。全ての施設が市の中心エリアにあればアクセスの面で都合良いことは分かるが、活用できる敷地が少なく縦長の川崎市では分散もやむをえない。	以下①～⑥を背景・目的とした、球技専用の「等々力球技場」の新設検討を提案する。横浜三ツ沢球技場と秩父宮ラグビー場の中間規模の約1.5-2万人収容の球技専用競技場、陸上トラックがないので、長方形（立体的には直方体）でコンパクトな作りとすることが可能。唐突な提案と感じられると思うが、整備が完了してしまうと等々力地区での新設はほぼ不可能になってしまうし、市内の他のエリアに適当なスペースを見出すことは困難と思料するので、このタイミングで検討をしておくのが、これから先の長い年月を考えると良いのではと考えます。 ①現在の等々力陸上競技場は年間を通じて使用日程過密であり、芝生の養生その他競技場整備の面から現在でも改善が必要で、新たな市民スポーツ活動、その他プロ／アマチュアスポーツ活動及びその他の興行に供せない状況です。年間のグランド使用日程調整会議においても、特に陸上競技関連の使用日要望がプロサッカーシーズン中に取り込めず、ラグビーも日数は少ないですが同様に実現困難な状況です。 ②かかる条件の中では、民間提案である「スポーツの拠点として、プロサッカーチームのホームグラウンドとしてのブランディング、多種多様なイベントを通し集客」は将来に渡って実現困難であり、今後の新規事業の取り込みや将来の事業拡大も困難と考えられます。 ③サッカー、ラグビー、アメリカンフットボール、その他芝生上で行うスポーツ、多種多様なイベントに対応可能な観客席付きの球技専用競技場を設けることにより、等々力陸上競技場の使用過多の問題を解決、ラグビー、陸上競技における新たな事業及びその他2つの競技場を使用する大規模事業の実施や更なる事業拡大も可能となり、合わせて市民開放の機会も増やすことが可能となるため、見るスポーツ、するスポーツを通して、市民サービスの向上を図ることが出来ると考えます。 ④水害でダメージを受ける河川敷グランドの整備を今後も長年にわたり繰り返し行うよりも、その一部を等々力緑地に新設の球技場に代替することにより、長い期間で捉えた場合、その分費用削減が出来る可能性が見込めます。 ⑤サッカー、ラグビー、アメリカンフットボールで使用することを明確に提示して事業をスタートさせれば、例えばラグビーであれば、市内及び近隣に事業所があるラグビーチーム所有企業の協力支援を得られる可能性もゼロではないと思います。 ⑥例えば、項目2で記載しました市民ミュージアムが移設できれば、等々力地区の活用敷地面積の増大が可能です。 ・計画の中では細かい話になってしまうかもしれませんが、既にその前提で検討を進めているとは思いますが、第一第二サッカー場再整備の際は、代替グランドはオール人工芝化を実現して下さい。
30	川崎市ソフトテニス協会	○富士見テニスコートが10面になってしまったこともあり、川崎市の中心位置となる等々力テニスコートを中心に活動している。 ○使用できるコートが少ないため、大会が1日で終わらなかったり、参加数を制限したりで辛うじて活動を運営している。	スポーツのまちかわさきと掲げているので、一部の団体だけでなく、希望があれば平等に出来るようにお願いしたい。Jリーグの時は、使用していないのに駐車場に入れなかったり、駐車場不足が運営にも影響が出てきている。4つのゾーンに分けての話があったが、まだ新しい施設は場所を移動させるのか？出来るだけ費用が掛からないように検討すべき。具体的なのは出てきていないが、上手く活用できるようにして頂きたい。	大会運営や一般市民の使用するテニスコート数の不足が発生しているが、その辺りが加味された計画になっているのか？数年前に下水処理場の上に、県外大会を川崎で開催できるように、最低でも20面の話が進められていたが、議員解散のため検討が一時ストップしていると思うが、その辺りの情報などが加味されている計画になっているのか？などの内容がどれくらい含まれているのかが読み取れなかった。そこまでの内容は今回記載されていないのか？もう少し内容が解るようになる時期はいつ頃か？その時には、内容の見直しは出来るのか、などが気になった。

関係団体等からの意見について

No.	団体名	項目 1 等々力緑地における貴団体の現在の活動状況	項目 2 今後の等々力緑地の再整備の内容や利用方法等についての意見	項目 3 その他、等々力緑地再編整備実施計画改定に向けた意見
31	川崎市ゲートボール連合	○5月の川崎市民スポーツゲートボール大会は中止とした。 ○10月の川崎市長杯秋季ゲートボール大会に、川崎市民スポーツゲートボール大会を被せたいと考えている。	○川崎市ゲートボール連合は7区の加盟であったが、今年、中原区が解散して6区となった。 ○等々力緑地催し物広場の予約が難しくなった。 ○年10回程開催の大会は宮前区の東高根広場で開催することとした。	現在の仮設の道具物置場が今後どうなるのか。
32	川崎市子ども会連盟 (中原区子ども会連合会)	○中原区子ども会連合会創立69年目 ○活動歴：中原区内幼児親子や小学中学含めた文化的活動、子どもリーダー育成活動、スポーツ活動他行政主催活動等参加取組を年間行っている。 ＜等々力緑地の利用活動内容＞ ●毎年7月にふるさとの森周辺「子ども会写生会」 ●催し物広場「子ども会主催ドッジボール大会（春、夏、秋）」 ●催し物広場「区主催スポーツ大会毎年参加企画行事 小学生男女、母親、スポーツラリー」 ●多目的広場及び運動広場「野球大会」 ●サブアリーナ及び付帯施設、研修室、体育室等「子ども会主催親子羽根つき大会」 ●メインアリーナ及び上記 同「全市作品展、羽根つき大会」 ●その他参加共催事業「全市子ども会野球大会、球場及び運動広場」 ●中原区民祭参加共催事業「催し物広場、アリーナ他、多目的広場等」子どもたちも企画イベントで参加 ●日常的は各子ども会の「自主練習場所」として多目的広場、催し物広場等小グループで有効活用している。	等々力緑地は比較的樹木も多く、多摩川に沿って環境的にも大変恵まれた緑地で、特に四季も感じながら家族で花見など憩いの公園として魅力向上と自然災害時ほか役割等の再構築が必要。 ○地域子ども会活動の拠点として、従来からの緑地。多目的広場、催し物広場、運動広場等は改善向上を更に図っていただき、年間通して左記の活動が容易になることを期待する。 ○等々力プールの復活を期待。当方も区内在住で比較的、平間児童プールに近いので、子どもたちと昨年夏も実際に利用。等々力プール開設は他施設との関連機能として、提案内容にもある広場空間にプール施設と親水施設を兼ね合わせた役割機能施設として親水空間機能は利用する地域としても魅力向上に向けて期待している。特にプールは、幼児から小学低学年層が楽しめる小プールや遊水具機能を設置し、子どもたちがより楽しく遊べるプールとなるよう切望している。特に子育て家庭が多くなっている。 ○現在の催し物広場は排水機能が悪い状態で、雨上がりは土面の乾き状態に時間がかかる。学校の校庭同様の排水改善処置を要望する。また、「運動広場、野球面」も現状で排水機能が悪い状態。今後も運動広場として維持使用するには、特にダイヤモンド面の雨上がり状態が悪い土質の改善を要望する。	○「等々力緑地再編整備実施計画」について、特に昨年の台風被害に伴って、公園緑地の利用を防災・減災や公園機能の安全・安心で効率的な公園施設の運営に向けての改定は必要と考える。 ○等々力陸上競技場のフロンターレはじめ、アリーナではバレーボールやバスケットボール等のプロリーグ戦の主会場で、年間の使用頻度も多くなっている状況や、公園緑地休日利用者、家族連れ等が今後見込まれると思う。したがって、魅力あふれる公園、プロスポーツ大会、野球場では高校野球大会、アマチュア大会等公園に来られる人が多くなるが、やはり集客が見込まれる施設が望まれる。 ◇請願課題の件ご理解 当時、中原区子ども会連合会事務局長として、「中原区等々力公園内下水処理施設上部の本格的少年野球場設置に関する請願」を提出し、平成6年12月22日市議会本会議で全会一致採択された。 請願趣旨は、中原区以外には少年野球場があるが、中原区にはない状態で、チーム数が徐々に減少し、現在、区大会春季、夏季、秋季等大会を学校校庭、多摩川河川敷、運動広場等グラウンドの確保に苦慮しており、この「本格的少年野球場設置」は長年の当会設置実現切望のお願いである。
33	神奈川県高等学校野球連盟	硬式野球場のみ使用	大型バスの駐車場確保は絶対条件。Bリーグ、Vリーグ、Jリーグなどの大会が重なっても選手・応援団の大型バスが駐車できるスペース（有料可）は必ず確保してほしい。	球場に隣接する場所に大会関係者用駐車場（普通車30台）を整備してほしい。
34	川崎硬式野球協議会	2020年1月より「等々力硬式野球場利用日程調整会議」に加入した川崎硬式野球協議会は社会人、中学生のクラブチームで構成されており、川崎市で指定された硬式野球専用の野球場、練習場で活動している。現在、多摩川丸子橋硬式野球場を中心に活動を展開しており、今後は等々力硬式野球場および同・室内練習場でも活動していく予定である。 (これまでの活動内容、理事の構成などの詳細はホームページ参照)	○収容規模に対して利用者、利用団体の駐車場が不足している。市民からの要請に伴う施設などの開発は良いが、併せて駐車場やゲストハウスなどの関連部門の施設も必ずセットで設計していただきたい。また、最寄駅からのシャトルバスなど自家用車だけに頼らない方式も検討頂きたい。 ○施設利用に関して、新たな予約方法を開発してもらいたい。施設設計、予定方法、駐車場などの利便性は同レベルで開発してもらいたい。現在のふれあいネットでは在勤証明書が大量発行されている団体ならば高確率で予約が可能であり、公共性が失われています。この点を改良し、特定団体だけが得をしない新たなシステム、利用方法を同時進行で作り上げて欲しい。	多摩川推進プランをはじめとして、川崎市は早くから多摩川流域への取り組みをハード・ソフト面バランス良く実施してきたと思うが、市民がその素晴らしい活動や成果を知っているようには思えない。そこで等々力緑地再編整備実施計画改定を期に広報面を一新し、等々力緑地および多摩川流域の川崎市の取り組みが理解できるポータルサイトを立ち上げて広報面を強化してはどうでしょうか。その際にそれぞれの施設を利用する団体のホームページやSNSをリンクさせれば利用団体の広報にも繋がり、また、そのポータルサイトとリンクすることで川崎市の取り組みも宣伝されることになる。さらに川崎市の公式イベント、利用団体の各種イベントも掲載されれば、なお利便性が高まると思われる。
35	首都大学野球連盟	首都大学野球連盟は、等々力緑地再編整備以前より、等々力硬式野球場を春季・秋季リーグ戦の会場として使用していた。今後もぜひ使用したい。	大会関係者用を含む大規模な駐車場の整備をお願いしたい。	—
36	東都大学野球連盟	○現時点では活動実績なし ○今年度の日程調整会議において、等々力球場を11月3日（水）～6日（金）の日程で調整していただいた。	—	○実施計画改定に関する意見はないが、弊連盟の活動について共有させていただく。 ・弊連盟は、大学野球の春秋リーグ戦を開催しているが、大学スポーツにとどまらず、地域社会貢献事業も行っている。 ・2019年度は、大田区の大田スタジアムのリニューアルオープンに際して、野球教室と東京ガス野球部との交流戦を開催した。 ・川崎市においては、弊連盟に所属している専修大学生田キャンパスがあるので、専修大学を中心にお手伝いできればと思う。
37	日本野球連盟 (神奈川県野球協会)	今年10月に完成予定の等々力球場を、社会人野球の試合会場として使用していく予定。	○周辺道路の整備を行い、より交通の便を良くしてほしい。 ○緑地周辺のごみの不法投棄対策の強化 ○等々力球場のボールパーク化 ○釣り池における害虫発生（カメムシなど）の対策	—
38	川崎市教育委員会事務局健康教育課	中学校・高等学校体育大会の教育委員会主催事業の開催	中学校・高等学校体育大会の使用についてご配慮をお願いしたい。	—
39	川崎市釣連合会	例年5月5日こどもの日に、等々力緑地釣り池に於いて、少年釣大会を開催している（川崎市レクリエーション連盟と共催で、主管は川崎市釣連合会）	過去のスタジアム改修に伴い、釣り池の一部が陰になり、ひょうたん池もなくなった。そのため、池が滞っており、水質が劣悪状態となっている。水質改善の為に、河川から流入・流出することや、浄化装置の設置・改良などを含め、改善をしてほしい。魚の数が少ないので、予算があれば放流をお願いしたい。 また、栈橋の一部壊れていて、奥に行くことが危険である。釣り池の配置を含めて再整備を望む。 さらに、武蔵小杉・新丸子・武蔵中原駅から遠く、バスなどは渋滞により時間がかかる状態なので、駐車場の拡大をお願いしたい。	また台風・水害が来る可能性もあるので、鶴見川の日産スタジアムの遊水地を参考にするなど、昨年の状況をも踏まえての早期の等々力再整備をお願いする。 再整備により、他の魅力ある施設などと相俟って、我々が対象としているお子様達の身近なレクリエーションの場所としての釣り池を含め、更に魅力のある等々力緑地になることを切に願う。
40	等々力緑地つり池同好会	○同好会会員数約200名 ○毎年5月5日 田中和徳大臣主催の少年釣大会（協力） 8月 公園協会主催少年小物釣教室（協力） ○池の浄化（ヤクルトの空の容器を水中に入れる。現在まで70袋） ○食害対策として池へのロープ張りや鳥カイト ○釣り人が楽しく出来るように指導 ○水質の変化などを報告	○釣り池に毎年1tのヘラブナを放流してくれるが、約半分くらい食害にあっている。2tにしてもらいたい。 ○現在の藤棚前に水生植物を植えて子供達が水生昆虫や水鳥の観察などできるように整備してもらいたい。 ○釣り栈橋をもう1本もうけてもらいたい。 ○池のヘドロの除去。数十年前からの提案であった。	等々力の池は昭和の初期から東横水郷と称し、ヘラブナ釣場7か所あった内の1つである。川崎市の誇りである。池を守り、緑の自然を守り、将来に向け整備してもらいたい。

関係団体等からの意見について

No.	団体名	項目 1 等々力緑地における貴団体の現在の活動状況	項目 2 今後の等々力緑地の再整備の内容や利用方法等についての意見	項目 3 その他、等々力緑地再編整備実施計画改定に向けた意見
41	等々力陸上競技場の全面改修を推進する会	○2008年より、競技場の全面改修（全面改築）要望活動 ・署名集め（221, 216筆）、川崎市議会へ「等々力陸上競技場の全面改修及びその周囲の施設・環境の速やかな改善に関する請願」提出（2009年） ○競技場改築及び公園再編整備にあたり、川崎市とともにイベントや意見交換実施 ・市民アンケートや説明会を実施、寄せられたご意見を取りまとめ川崎市へ提出 ・川崎フロンターレ試合開催時やファン感謝デー等にて改築情報提供 ・「さよならメインスタンド」イベント ・競技場改築や公園のあり方に関する川崎市との話し合い ・「等々力をスポーツの聖地に」シンポジウム開催運営（2017年5月）	○請願書（下記）に記載された内容の早期実現 「等々力陸上競技場の全面改修及びその周囲の施設・環境の速やかな改善に関する請願」（2009年提出） <請願の要旨> 等々力陸上競技場が川崎市のスポーツの聖地として、これからの川崎市を担っていく青少年が「いつかはここ『等々力』でプレーしたい」と夢を抱くような、老若男女すべての市民が愛着と誇りを持てる安全で快適なスタジアムになるよう、等々力陸上競技場の全面改修及びその周囲の施設・環境の速やかな改善を求めます。 <請願の理由> 現在、川崎市が所有する等々力陸上競技場では、Ｊリーグ・川崎フロンターレのホームゲームをはじめ、陸上競技やアメリカンフットボールの国際大会が開催されるようになりました。また、それらのトップアスリートたちの活躍を間近に観るため、競技開催日には数多くの市民が競技場を訪れ、スタンドから盛大な声援を送っています。 しかしながら等々力陸上競技場は、建設時には現在のような使用規模が想定されていなかったため、大観衆を快適な環境で受け入れられる構造になっていません。老朽化も手伝って、非常に危険な状態です。場外の入場待ちスペースやコンコースは大混雑し、また悪天候時には、雨風をしのげる場所が足りない、雨漏りによりコンコースに水が溜るといった問題が発生、更には床や壁がひび割れて崩れる、場内放送がよく聞き取れないなど、来場者からは危険を指摘する声や不満などが頻繁に聞かれるようになりました。あの狭い場所での現在の混雑状態を見ますと、万が一災害が起こった場合には、避難する来場者が混乱をきたし事故に繋がりがかねないと大いに危惧する次第です。ましてや子供やご年配の方、身体にハンディを持つ方々にとっては危険極まりないと思われます。 また、トップレベルはもとよりアマチュアレベルの利用団体にとっても、関係設備の数、配置、導線が悪いなど、利用にあたって困難な点があります。競技がスムーズに運営されてこそ、競技参加者は競技場に素晴らしい印象を抱くことができます。それは競技の盛り上がりにもつながることから、観戦者にとっても喜ばしいことです。 上記のような数多くの問題点を改善するためには、部分的な改修ではとても補えません。それゆえ、大規模な全面改修を求める次第です。現状では、いつ事故が起こってもおかしくない状態であることから、至急ご対応くださいますようお願いいたします。 全面的な改修を行うならば、大きな自然災害が起こった場合に等々力陸上競技場を避難場所や防災倉庫などの大規模防災拠点として活用するという有益性も付帯可能でしょう。スポーツ観戦という視点だけでなく、巨大な防災拠点としての活用も考慮に入れた競技場施設のあり方を検討すべきと考えます。 等々力陸上競技場が川崎市のスポーツの聖地として、これからの川崎市を担っていく青少年が「いつかはここ『等々力』でプレーしたい」と夢を抱くような、老若男女すべての市民が愛着と誇りを持てる安全で快適なスタジアムになるよう、等々力陸上競技場及びその周囲の施設・環境の速やかな改善を切に要望いたします。 ○スタジアム改築及び周辺整備にあたり「一体感」コンセプト（下記）の実現 「皆の声から生まれたコンセプト 何より望まれるものは『一体感』」 感動や盛り上がりを引き上げる要素は何か。現競技場の全面改修を望む請願を提出した「等々力陸上競技場の全面改修を推進する会」では、一般から広く意見を募りました。 コンセプトは「一体感」。これは、来場者や選手たちが以前からよく口にしていた言葉です。「スタジアム中の声援が合って一体感が生まれたとき、涙が出るほど感動する」 「応援が後押しになって『皆で戦っている』と感じるときがある。あの一体感はずごく力になる」今の競技場でも「一体感」は生まれています。が、意見を募った結果、まだまだ増幅できる余地があることが明確になりました。「一体感」を継承し、さらにパワーアップしていくことこそが第一に望まれています。来場者が楽しみ、盛り上がりないと誰も喜べない。試合会場がしらけていると、選手たちはもちろん、メディアもVIPも、スポンサーも会場所有者も、そこを誇らしく思うことはできないでしょう。時には「ここで試合をする必要はないんじゃないか」という疑念さえ投げかけられるかもしれませんが。来場するファン、サポーターが「一体感」をもって盛り上がることで、そこはじめて、皆が誇れるエリアになります。「一体感」とは、①「市民の声」②「選手たちの力になるもの」③「今も等々力にある良さ」です。 <アンケート結果> 1位：フィールドの近さ 2位：応援の盛り上がり 3位：老若男女が楽しめる 4位：試合前後の触れ合い 5位：映像が皆を高ぶらせる（※当時は大型ビジョンが北側1基のみであった） ○スタジアム及び周辺整備にあたっての「女性目線」の取り入れ 「女性も快適に過ごせるスタジアム（＝男性も快適）」を目指し、女性アンケートや女性トークショーも実施（2012年）。 その際に寄せられたご意見への十分な配慮を希望（意見は集約し川崎市へ提出）。 ○「等々力をスポーツの聖地に」の考え方（下記）の実現 等々力緑地を、今もある良い面を活かしつつ、さらに多くの老若男女が日常的に集うような、賑わいのある魅力的な場所に。「スポーツのまち・かわさき」を謳っている川崎市にあって、今もその中心的役割を担っている等々力緑地だからこそ、スポーツとの関わり合いに着目。スポーツの力で、等々力緑地やその周辺地域、川崎市をより活気づけることができるのではないが。また、スポーツには「遊び」も含まれる。皆が楽しく生き生きと遊べる公園になってほしい。「人々が喜び集う等々力緑地」を願う。	等々力に思いを寄せる方々の期待は大変大きいと感じる。現在は実現されていないが、願われている「見えていないニーズ」が多々あることも考慮し、計画を推し進めていただきたい。
42	中原区老人クラブ連合会	○グランドゴルフ大会（親睦、選抜） ○ゲートボール大会（親睦、選抜） ○ベタンク大会（親睦、選抜）、練習 ○輪投げ大会（親睦、選抜）	中原区老人クラブ連合会は、玉川地区から大戸地区までの37クラブ連合会で構成されている。これだけの会員が一堂に会する時には等々力緑地がなんとしても必要になるので、今後公園利用を是非ともお願いして、高齢者の生きがいの場として利用させてほしい。	競技用グランドゴルフ、ゲートボール、輪投げ、ベタンク等の用具の収納場所が無く、区役所の地下室に収納しているが、急な階段があり危険で、公園とは場所が遠いため、車で運搬しなくてはならないので、これらの道具を収納できるようにしてほしい。

関係団体等からの意見について

No.	団体名	項目 1 等々力緑地における貴団体の現在の活動状況	項目 2 今後の等々力緑地の再整備の内容や利用方法等についての意見	項目 3 その他、等々力緑地再編整備実施計画改定に向けた意見
43	とどろき水辺	○集合場所・資材置き場として利用 ○川・河川敷に行く前の準備場所としての活動拠点 ○清掃活動	○全体ゾーニングとして多摩川も含めて再整備してほしい。 ○土手の桜並木・河川敷など市民の憩いの場として活用できる。 ○釣り池については、利用者が固定され人数も減少している。広大な敷地に管理等費用が多 大。半分を多くの子供たちのための施設であるプールを整備してほしい。今回野球場整備で撤 去されてしまい残念である。プールから緑地への子供たちの利用が増えることが見込まれる。	○飲食をはじめ商業施設がお粗末すぎる。スポーツ愛好者のみならず、一般市民が利用 できる飲食ゾーンが欲しい。 ○市民ミュージアムの台風被害については、もともと多摩川流路の砂利を掘った跡地に 建設され、水害を想定できたはずで、地下収納庫にしたのは前段階からの誤りである。 今後地下はオープン駐車場として（駐車場はスポーツ団体のみで満車。一般市民は常に 利用できない）、展示物は上階にすべき。 ○アリーナについては無駄な広さの空間は一般利用に解放、市民利用は多摩川べりの空 き地を利用した施設を建設。 ○運営を東急にのみ任せるのではなく、NPO法人等ゾーンごとに分けるほうが良いので は。
44	中原区地域教育会議	子ども会議・子ども実行委員の子どもたちは、競技場なども含め、施設を普段からよく 利用しており、大変身近な施設である。	＜等々力緑地に欲しい施設＞ ○どこかの施設内に音楽室を作って欲しい。ドラムとか、ピアノとか、ギターのアンプとかを 置いて自由に練習ができる場所が欲しい。 ○楽器を自由に練習できる屋外のオープンスペース ○スケートボードの練習場 ○屋外のバスケットゴール ○ボール練習ができる場所 ○お花見もできて、座ってお弁当を食べられたり、みんなで遊べるような広場 ○ミュージアムの再建	○PFIはわかるが、民間活力だけではだめ ○市民ミュージアムは市の重要な研究施設で、文化資料の回復をしなければならない。 そういう施設を民営化するのとは絶対に反対。市の公共施設であるべき。そして、洪水対 策を完済にすべき。 ○安全面での強化が是非とも必要。これには民間の意志や善意だけでは足りない。川崎 市が責任をもって今回の浸水被害の検証結果を生かして推進すべき。 具体的には、 ・山王排水樋管を自動的に開閉できるように改良する。 ・閉じた時に、内水氾濫にならないように排水ポンプを適切な場に複数設置する。 ・管理担当者をきちんと動けるよう配置する。 ・等々力緑地全体が昔の遊水地なので、洪水対策のためにこの土地の適切な場所の地下 に巨大貯留管を埋設する。貯留管の効果については、江川せせらぎ遊歩道の地下貯留管 を参考にすること。
45	中原市民館サークル連絡会	○33団体が加入 ○健康体操・ジャズダンス・フラダンス・太極拳等の体育系の団体は、中原市民館が取 れないので、アリーナの研修室・体育室を利用している。	中原市民館の利用率が高く、特に体育系の活動は、年48回のうち1回程度しか利用できない。活 動場所の件で不満が多く出ている。そこで、市民館の別館を緑地内に建設してほしい。特に、 20～30人程度が活動できるスタジオが欲しい。新しい野球場に老人いこいの家が残されている ことに感動した。サークル会員も高齢者だが元気に活動しているので、居住地に近いところで 活動したい。	10年ほど前に再編整備の検討会があり、その会議に参加した。その中で、緑地の中央に 一般道路があるのはいかがなものか？という意見があった。緑地の外周道路があるの で、競技場前の道路は貫通させず、施設利用者用の道路にしたらどうかという意見が出 ており、賛同者が多かったように思う。
46	中原区スポーツ推進委員会	○健康まつり（とどろきサブアリーナ） ○グラウンドゴルフ大会（催し物広場） ○市民体力テスト（とどろきサブアリーナ） ○総ぐるみスポーツ大会（催し物広場）	従来通りスポーツ推進委員の事業（イベント）が継続して行えるよう配慮してほしい。	—
47	とどろきスポーツ文化パートナーズ	○とどろきアリーナの指定管理者グループである「とどろき文化スポーツパートナ ーズ」の代表企業として事業全体を統括 ○とどろきアリーナの指定管理者として施設の運営及び事業実施を担当	○水と緑という観点は緑地として持つべきだが、公園の機能が多様化していることを踏まえ、 ゾーンごとに多様化する機能を賄えるものであればいい。 ○緑地全体やスポーツ施設との相乗効果が期待できる商業店舗の整備。とどろきアリーナ利用 者からも飲食販売の要望や近隣飲食店の問い合わせが多く、緑地やスポーツ施設との親和性は 高い。スポーツ施設だけでは常設店舗は難しいかもしれないが、緑地内に常に滞留できる場が 整備されれば、相乗効果が期待できる。 ○ランニングコースを整備する等、利用者・市民が安全に回遊できる場を整備することで、賑 わいが生まれる緑地になると考える。 ○等々力緑地へのアクセス自体はそこまで悪くはなく、とどろきアリーナ利用者もバス等の公 共交通機関で十分にアクセス可能である。ただし、大規模大会時は武蔵小杉駅、武蔵中原駅、 新丸子駅から利用者をすべて公共交通機関でアクセスさせることは不可能であるため、地域と 連携し、集客を利用した仕掛けがあると地域全体が活性化すると考える。 ○台風被害を受けて、多摩川が氾濫しなくても水害が発生することを認識した。同等レベル以 上の災害が発生した際の対策が必要。 ○とどろきアリーナに現在設置されている居室や機能、規模はそのまま残すべきと考える。 ○とどろきアリーナに関しては、現在の利用者（団体・個人）が引き続き利用ができる環境を 整えることは必須。 ○緑地全体がフロンターレやブレイブサンダースのホームであるため、その2チームの使い勝手 がよく、集客できることを意識した施設改修は必須である。それにより緑地全体が活性化さ れ、緑地をハブとした地域経済やスポーツ、防災等様々な波及効果が期待できる。	—
48	有限会社 誠サービス	等々力緑地内運動施設の管理運営業務 ○運動広場、補助競技場、多目的広場の整備、草刈、排水溝の清掃等 ○第1・2サッカー場の整備、草刈、清掃、シャワー室の清掃、グラウンドの散水 ○テニスコートの整備、クラブハウス内清掃（トイレ・シャワー室・更衣室等）、ベン チの清掃 ○各有料施設の受付と確認、備品の貸出、安全確認	○運動施設としては、サッカー利用の子供たちと保護者にはとても喜ばれている。散歩等で利 用する特に高齢の方には、運動施設の利用者が多く、ボールが転がってきたりして歩きづら い、緑が減らされてがっかりしているというような意見が聞かれる。 ○等々力緑地に限ったことではないが、野球場の利用申し込みについてふれあいネットのカー ドを何百枚と所有し、悪用している人間がいるようだ。	夜間、早朝が暗く恐ろしい。防犯カメラがなく怖いと利用者からよく言われる。安心、 安全が見てわかるようであればよい。
49	アクティオ・東急コミュニティー共同 事業体	川崎市市民ミュージアムの指定管理者（代表団体）	等々力緑地全体のポテンシャルを活かしていない感じがある。飲食やアクティビティを導入す る案は面白い。緑地全体が活性化するとバス便の増加など、課題であるアクセスの向上にも繋 がる効果がある。	—

関係団体等からの意見について

No.	団体名	項目 1 等々力緑地における貴団体の現在の活動状況	項目 2 今後の等々力緑地の再整備の内容や利用方法等についての意見	項目 3 その他、等々力緑地再編整備実施計画改定に向けた意見
50	川崎市・中原区社会福祉協議会	現在は特にないが、今後、指定管理施設の老人いこいの家が移転することで関係が生じてくる。	○とどろきアリーナを観るスポーツの拠点としてだけでなく、市民ミュージアムも同じエリアにあることからカルッツかわさきのように、スポーツと文化の両方を利用できる場としてほしい。 ○障害者スポーツや高齢者スポーツが、この場所を中心に発信できるとよい。	○小杉エリアは、中原区の中でも30代人口（世帯）が多く、まち全体が活動的な印象であるが、古くからある商店街等は今でも住民の生活を支え、地域交流の場として大切な役割を果たしている。民間提案の主な内容にある(1)～ウの「まちと繋がる誰しにも開かれた憩いの場づくり」が確実に達成できることを期待したい。 ○小杉エリアの平坦な道が続く土地の利点を最大限に活かし、障害者・高齢者・児童等の移動の利便性について検討してほしい。
51	多摩川園芸クラブ	現在20名在席、会費1000円/年で会を運営。約500坪を36区画に分けて、各自規約を守って24時間365日自由に畑作業をしている。昨年台風の影響により、多摩川園芸クラブの利用可能区画を示すための杭の大半が抜け、流されてしまった。そのため、今後の活動に何か支障がないかと不安が残っている。	左に記載した通り、昨年の台風の影響によって流されてしまった杭の修復をお願いしたい。杭の他にも台風によって流されてきた流木の撤去もお願いしたい。	—
52	川崎中原菊花会	当会は中原文化協会の会員で10月に行われる中原文化祭に参加している。毎年10月20日頃から11月15日頃まで菊花展を多目的広場の北側で仮設花壇を設置し、開催している。又、展示場の資材等を収納する為に、旧野球場の倉庫を無料で借りていた。	平成24年11月に衆議院議員・田中和徳様の代表者名で常設展示場の設置の要望書を提出している。なお、現在は新野球場の中に出来る常設展示場を借りることが出来る方向でお話が進んでいる状況。	—
53	中原消防団	年初の消防出初式及び中原消防大会の開催、その他団員実技教養として資機材の慣熟や行進訓練、車両操作、放水などの消防全般の訓練の実施	○災害時におけるヘリコプター運用に伴い、臨時場外離発着場としての機能が必要 ○消防ドローンの活用場所、オペレーター訓練場所としての利用	催し物広場について、 ○ナイター照明が必要。 ○災害時用のソーラーパネルによる発電、臨時コンセント及び水道・排水の施設、さらに公衆トイレの増設が必要。 ○大テントの設営が出来れば良い。
54	小杉御殿町1丁目町内会	○グランドゴルフ（ゾーン1）週1回 ○夏休み中のラジオ体操（ゾーン1）1週間 ○町内会お花見（ゾーン1）	○園内ランニングコースの新設 ○市民憩いの場としての魅力的な広場として整備 ○園内の桜等樹木の保存 ○環境保全への取組み	—
55	小杉陣屋町2丁目町内会	○町会子供部ドッジボールの練習に利用 ○老人クラブがグランドゴルフで利用	○小さな赤ちゃんから老人まで全世代の人が楽しく利用できる公園にする。特に若者が集う3on3のバスケットコート（ネットだけでも）。 ○芝生の場所を広くし、芝生の上でのんびり寝転んで過ごせる環境が欲しい。	○施設の整備も必要であるが、西丸子小学校の裏や建物（一般者）、道路の境を常時きれいにすることが必要。現在のように周りは「きたない」ことのないように。 ○防災対策でどのような役割ができるか検証が必要。他の市町村を参考にする。
56	宮内自治会	○自治会として特別な活動はない。 ○個人的には早朝の体操や催しで利用している。	○今まで同様に、気軽に楽しめる場を望む。 ○子どもたちも楽しめるプールの設置を進めてほしい。 ○川崎のスポットとして多くの人たちが集まる商業店舗の充実も進めてほしい。	○台風19号の被害状況から等々力緑地の地下雨水流出抑制設備の充実を望む。 ○アクセスの向上を目指し、府中街道の拡幅に伴う充実を。 ○エリア内の駐車場の充実で周辺への車両通行の影響を考慮してほしい。

関係団体等からの意見について

No.	団体名	項目 1 等々力緑地における貴団体の現在の活動状況	項目 2 今後の等々力緑地の再整備の内容や利用方法等についての意見	項目 3 その他、等々力緑地再編整備実施計画改定に向けた意見
57	等々力町内会	<等々力緑地に対する貢献及び活動事例> ①大神輿の巡行：9月の小杉神社祭礼では大神輿の朝一番巡行先として、町内会総出で神輿の大行列を迎えます。 ②野外コンサートとオリエンテーリング：宮内中学校吹奏楽部の協力でふるさとの森で野外コンサートが開催されました。地域の住民に加え、部員父兄が石垣の上で鈴なりに撮影、数百名が見守る盛り上がりでした。地域の子供達がふるさとの森を利用してのオリエンテーリングを十分楽しみました。 ③公園内廃棄物の清掃：公園内には不法投棄廃棄物が多くあり、公園当局の清掃は追いついていません。公園内のゴミ箱が撤去されており、植込みの奥に捨てられるゴミが増えています。地元である町会は、このようなゴミの処理につき、簡易なものは日常のゴミとして、粗大ごみの類は道路公園センターや交番への連絡からその最終処理まで見守っております。毎年の統一美化運動及び日常の道路等への落ち葉等処理は、会員のボランティアの協力で清掃に当たっております。 ④草刈り・剪定・倒木・枯枝の処理：4年前ですが藤棚や釣り池周囲に草や笹が高く繁茂し、危険な状態にありました。見かねて県議を通じ申し入れて、改善されました。今年は五月中旬には高木の剪定が行われました。生垣の剪定は一度行われましたが、再剪定が必要な状況で、身近なところはボランティアで対応しています。強い笹は植込みの内外まで繁茂し、本来の姿に戻すことはできません。児童公園の周辺は子供の目が届かぬ高さに、雑草と中低木が生えております。これは、スポットで剪定バサミとゴミ袋を持って掃除もしたりします。台風15号・19号後の倒木・枯枝の処理もボランティアとして道路沿いに集め、担当センターに連絡して、片付けてもらいました。 ⑤ボランティア花壇作り：4年前にボランティア団体との管理割当によって花壇として整備された周辺に比べ、町内会入口のトイレ横の石段の上は、雑草の繁茂するに任せ放置されており、トイレとの窪みには大量のゴミが投棄されていました。私の一大決心でゴロ石や埋設ゴミを取り出し、耕し、除草し、年間を通じて時期が来たら花が咲くように、手に入る花の種や球根、花木を植えて、一斉に花苗を植え替える一般的な公園花壇とは違う、水仙、菜の花、バラ、矢車草、ゼラニウム、アジサイ等素人花壇を楽しんでもらっております。 ⑥避難所倉庫出入口スロープ工事：宮内中学校(等々力町内会・神地町内会他2マンションの共同避難所)の奥にある区が管理する避難所の倉庫への最短搬入出入口(公園バス停から)が、1mの段差があるため、区の危機管理担当が使わないまま放置されておりました。防災会議の席で対応を求めましたが、危機管理担当には改善意欲が見られないため、学校管理者と相談の上、ボランティア工事でスロープを作り、公園内にも倉庫への通路を作ることと合意し、作業に取り掛かりました。関係者が多く、個々に了解を取りつつ進める工事は約4年を要しましたが、5月にコンクリートを塗り詰め、スロープは現在供用可能となりました。 以上は「等々力町内会ブログ」で写真を見ることが出来ます。	「コロナ非常事態宣言」対応以後、公園の利用者が増加しました。かくれんぼで空き地を走り回る中学生、花見がてら散歩する高齢層、ランニングする利用層も目立ちます。毎日公園を見ている私達の気持ちや思いを共有できれば、改善の手順が公園管理者に鮮明にイメージされると思います。広域スポーツ公園と防災の基地等マルチな役割を求めるため、公園そのものに楽しさや魅力がありません。多摩川河川敷と一体化することで、楽しさも生み出せると思います。(京都鴨川河川敷風の楽しい雰囲気が一例)民間管理ならば、緑地側にはスポーツイベントの試合の無い日でもプールや観覧車、飲食店舗位のアミーズメントは期待出来そうですね。	居住者に安定した生活基盤が確保できる(約束が守られる)街づくりであって欲しい。等々力町内会の町会域は、等々力緑地に重なっており、都市計画上、公園の事業化のあり方の検討如何で、将来転居を求められる可能性を含む、厳しい当事者であります。(とはいえ、自分たちが毎日生活しているこの公園を取り巻く環境等良くしたいと強く思っています。) 『「3.等々力緑地再編整備実施計画について」-「②基本構想」-「ア 再編整備の進め方」-「ステップ2 都市計画決定されている等々力緑地」-□「事業化と区域のあり方」を検討するエリア』の中に等々力町内会の町会域はあります。 (『第1回等々力緑地再編整備計画推進委員会の資料4、9頁を引用) ①市は党書の約束を果たすことなく、釣り池外周にあった道の拡幅延長をもって代替路にして欲しいと提案しています。等々力の住民は、既存の生活道路を一本失う結果になります。市による等々力町内会への約束違反に町会各員が「またしても約束を反故にされたとの鬱積する気持ち」が目に見えます。町会が苦勞して勝ち取った約束は実現して欲しいです。 (党書及び図面、町内会として取り纏めた要望を参照)⇒<u>別添資料あり</u> 『等々力の住民が私道を市に提供して4mの公道となった結果、下水が整備され、都市ガス本管も埋設され、最近人気の住宅地として建直しが進み、新しい入居者も増えております。平成27年に完成した陸上競技場メインスタンド実現のために、住民の反対を押し切って生活道路を廃道(ただし、党書代替路の未供用の為、従来同様車両は通行)中央園路となりました。野球場の北側に車両通行権の補償の意味で中央園路を作ることが約束されておりました。』 ②「事業化と区域のあり方を検討するエリア」が将来、公園事業認可(事業買取＝住宅地の永住が否認される)リスクを解消して欲しいと望んでいます。 ③等々力児童会館の現在の機能が損われない形で将来も住民の親睦の場として利用できる継続方法についても、特別な配慮を求めたいと思います。 以上①～③を等々力町内会としては要望いたします。 <終わりに> 公園用地の減少は、国有地である多摩川の河川敷を公園として整備することで、実質的に補うことが可能ですから、等々力緑地と多摩川をスロープで結び一体化することで、公園の質を高めて市民を満足させることは、適切な処置であると考えます。これを現実的な公園施策であると考えて、二度立候補した市議選挙でも私は訴えてきました。管理が東急に委託されるか否かに拘わらず、等々力緑地が楽しい公園になるように、微力を尽くしてまいります。

関係団体等からの意見について

No.	団体名	項目 1 等々力緑地における貴団体の現在の活動状況	項目 2 今後の等々力緑地の再整備の内容や利用方法等についての意見	項目 3 その他、等々力緑地再編整備実施計画改定に向けた意見
58	小杉町一丁目町内会	(個人の意見として提出) ○等々力緑地における活動状況を記入する以前に、地域住民に対して「魅力あふれる公園」としての働きかけがあったのか。説明してほしい。 ○当団体での活動：お祭りでの盆踊りの参加・出店の手伝い、サッカー試合の見学、グランドゴルフ、羽根つき、ドッジボール、写生等の施設利用、個人的には市民ミュージアムでのイベント観賞、スポーツジムの利用 ○理想とする公園（魅力あふれる公園）：分倍河原にある府中市立郷土の森	再編整備事業の提案は審査講評により大筋決まっているようであるが、意見としては、 ①再編整備計画の主旨について各町会会員、市民団体会員に広くわかりやすく説明し、意見を求めてほしい。突然説明書を見ても理解できない。特に「PFI法」とは何か。 ②緑地の課題が示されているが、広く市民に訴えかけてアンケートを求めてほしい。今の計画だと市民の求めているものが反映されていないように思える。 ③安心・安全で魅力あふれる公園とは何か。地域住民の気持ち が反映されていないのではないのか。ただ効率と効果、合理性を求めているのではないか。	①全体ゾーニングを見ると、効果・効率・合理性を求めている、「魅力あふれる公園」、子どもたちが楽しく遊ぶ、高齢者が行ってみたくなる公園、家族が楽しく過ごせる公園等のいやしの場、自然を取り戻す場が一切明記されていない。 ②冠水対策として地下に貯水槽を作る。 ③汚れきっている池を浚渫し、透明度の高い美しいきれいな水に戻す。 ④虫や鳥が戻ってくる公園としたい。 ⑤地表面は一切元の自然の土に戻す。 ⑥小杉、新丸子から歩いて来られる道を作る。 ⑦高齢者や子供のために循環バスを多く走らせる。 ⑧緑地という名称のため多くの樹木を植え、炭素同化作用を推し進める。緑が少なすぎる。 ⑨最近の公園はほとんどが地表面を舗装し、元の姿を一変させている。2000年の中のわずか100年で、自然を消滅させていることを非常に疑問に思う。何とかならないのか。 ＜有馬の池（現等々力緑地）の思い出と『等々力緑地再編整備事業の推進に向けた今後の取組方針』に思うこと＞ 2020年、私は現在80歳である。1945年、5歳で終戦を迎えた。小学校4年生のころ、夏休みの宿題に昆虫採集をしようと思い、網をもって中原の周辺を歩き回った。当時、等々力緑地は「有馬の池」と言われていた。多くの池に囲まれた中に有馬牧場があり、乳牛がたくさんいておいしい牛乳が飲めた。そのため「有馬の池」と呼ばれていた。だから今でも「等々力緑地」と言わず「有馬の池」で通っている。小杉神社の脇を下ると見渡す限りの竹やぶが続いていた。竹やぶを抜けると乱調に配置された池が幾重にもあった。その昔、砂利を採取して掘った跡が池として残った。砂利は東京のビルラッシュのためにコンクリートの骨材として運搬されていった。なんと商魂たくましいのだろう。自然が長い年月をかけて作った砂利をお構いなく取り去り、残った穴はそのまま放置した。勝手なものである。そのあとは風雨にさらされていつの間にか水がたまり、池となった。不思議なことに、池には今は見ることでできない水草が一面にあった。あの水草はどこに行ってしまったのだろう。そのうちに池には魚が住むようになり、夏にはカエルの合唱が聞こえるようになった。自然のままの池の水は透明度が高く、きれいに湧水になっていた。網を持った私はまず「有馬の池」に行った。そこは昆虫の宝庫である。池には多くの昆虫が水を求めて集まってくる。当時の池は今のよう汚れておらず、昆虫などの生き物が住める最適なところであった。「有馬の池」の周辺には中原小学校があり、森に囲われた春日神社は昔の物語に出てきそうな「鎮守の森」であった。府中街道は自動車等全く通っておらず、大八車に荷物を載せ、馬が引いて道路を往来していた。近くの小川には蜚が飛び交っていた。付近を流れる多摩川の川底はさらさらとした砂で、泳いでいても足触りが気持ちよく、余計なものは一切なくケガをしない。のどが渇くと川の水を飲んだ。このように当時の中原区は大変美しいところで、空気もおいしく、空は澄み渡り、今のように密集した街とは比べ物にならないほど住みやすい街であった。当時と比べて良くなったのは下水道の完備である。当時、もし将来をイメージしてインフラの完備を進めていたらもっと素晴らしい地域になっていたと思う。多くの昆虫の集まる「有馬の池」にはいろいろな虫や魚がいた。みずすまし、やご、ゲンゴロウ、ドジョウ、銀ぶな、めだか、くちぼそ、たなご、うなぎ、かに、川えび、もずくがに、えびがに、鰯、はや、青色えびがた、たがめ、なます、らいぎよ、カエル、赤ガエル、トノサマガエル、ヒキガエル、食用ガエル、沢がに、モンシロチョウ、カナブン、てんとう虫、カブト虫、アゲハチョウ、キアゲハ、かまくら蝶、しおからとんぼ、おはぐるとんぼ、ギンヤンマ、オニヤンマ、赤とんぼ、カミキリムシ、バッタ、トノサマバッタ、キリキリバッタ、キリギリス、イナゴ、クワガタなど。天気の良い日にはひばりが天高く鳴きながら上がっていく。夕方になると渡り鳥が空一面、北に向かって飛んでいく。それなのに今はみんなどこに行ってしまったのだろう。会いたくても会えない。私のように80歳以上の人でないとこの「等々力緑地」の75年以前よりずっと続いていた美しい自然の姿をイメージするのは難しいと思う。「等々力緑地再編整備事業の推進に向けた今後の取組方針」には、2000年以上続いていた美しい自然を取り戻す発想が一切含まれていないのはなぜか。 さて、生き物にはいろいろな面白いことがある。 ●ゲンゴロウ：ガラスコップに水を入れ、その中にゲンゴロウを泳がす。水の表面に赤い小さな布片を浮かべると、ゲンゴロウが布片をつかみ、底のほうに持っていき、そこに着くと布片を離す。すると布片は上に浮かびあがる。水面に出た布片を再びゲンゴロウはつかんで、再び底に持っていく。この繰返しを見ていると大変おもしろい。こんな風景二度と見ることができない。今は池にはゲンゴロウはいない。 ●キリギリス：キリギリスをとるのが面白い。キリギリスが鳴いている周りをぐるぐる足で踏んでいくと、キリギリスは逃げられず、中央に出てくる。そこを一挙にとらえる。キリギリスは今はいない。 ●ドジョウ：ドジョウは泥の中に隠れている。足で周辺を踏んでいくと、ドジョウは”きゅきゅ”と鳴く。その下を掘ってとらえる。 ●ギンヤンマ：ギンヤンマを捕まえるにはチャンヤンマをとらえて糸で飛ばす。アユのとも釣りと同じ。そこへギンヤンマがやってくる。すかさず網でギンヤンマをとらえる。 こんな体験、今思えば二度とできない。ほんの100年足らずの間に、永い永い年月（約2000年）の自然の営みを絶滅させていつている。絶滅種が限りなく増えている。一度失われた生き物は二度とこの地球に帰ってこない。中学生のころ、宮内にある友達の家遊びに行った時のことである。友達の家は農家で広い敷地の中に畑があり、周囲が林になっている。ちょうど春日神社の近くである。畑の中に”こじつけ”というウズラに似た鳥が巣を作って卵を温めていた。この巣に近づいても逃げようとしない。友達の話によると、中には鳥を捕まえる人がいるという。困ったものである。友達は大切に鳥を守っている。そんなのどかな風景が「有馬の池」の周辺にはあった。今は友達の家周りはすっかり様変わりして、畑はおるか林もなければ古い家もない。浦島太郎のようである。こじつけはどこに行ってしまったのだろう。 今まで記したように、当時の等々力緑地、いや、「有馬の池」を含んだ周辺の環境は自然そのもので、子どもたちの遊び場、高齢者の憩いの場として最適であり、人々の生活もどこかで住みやすいところであった。これから等々力緑地を再整備するのであれば、本当の気持ちとしては当時のような自然に戻したい。そして昆虫や魚が帰ってくるような環境を作ることができたらな、と素朴に思う。これが本当の市民、地域住民の希望する「魅力あふれる公園」といえるのではないだろう。か。時代が変わってしまった今となつては到底どんな方法や手段を尽くしても実現することが無理と思われるが、「夢は見続ければ正夢となる」と言われるので、夢に向かって前進する情熱と勇氣をもって、いつの日か実行してもらいたい。私は夏のある日、春日神社で行われた盆踊りに参加した際、この鎮守の森で地域の若者たちが大勢集まって踊りまくっていた。若者もやはり自然に囲まれた中で過ごしたいという表れであると思う。海外でも都市化で激減した虫や小鳥を再び増やす工夫の取組が行われている。現在の『等々力緑地』は全体的にみると「等々力スポーツ施設場」で、「緑地公園」がどこかに行ってしまったように思える。地表面はほとんどアスファルト舗装で、太陽熱の反射による輻射熱、施設はコスト優先と効率重視、利用者は抽選等で選ばれた限られた人々といった具合で、地域住民の憩いの場所とは思えない。再編整備するのであれば、この際思い切っ て原点に帰って検討してほしい。

関係団体等からの意見について

No.	団体名	項目 1 等々力緑地における貴団体の現在の活動状況	項目 2 今後の等々力緑地の再整備の内容や利用方法等についての意見	項目 3 その他、等々力緑地再編整備実施計画改定に向けた意見
59	小杉町二丁目町内会	○町会からは遠いエリアとなるため、直接的な行事実施はない ○小杉地区社会福祉協議会（小杉地区19町会）としては、老人いこいの家の活動支援があり、特に高齢者食事は盛況に実施され、充実している。また、子育て支援活動（子育てサロン）活動拠点としても小杉地区における重要な役割を果たしている。	○公園施設については全世代が使用できることを配慮してほしい（特定の年代に偏らない） ○メンテナンス面でも配慮され、美しい公園・幅広い年齢層が楽しめる公園を目指してほしい	最寄駅からのアクセスを現状より向上できるようにしてほしい
60	川崎商工会議所中原支所	当所が事務局となっている「Buyかわさき出品者協議会」（※参照）において、陸上競技場で開催される川崎フロンターレや、とどろきアリーナで開催されるNECレッドロケッツの試合会場で出店する方を募り、参加している。（バスケットボールでは参加していない） ※川崎産品を市内外に紹介・宣伝し、販路開拓を通じて地域経済活性化を図ることを目的にしている。	—	昨年の台風19号では、緑地や隣接地域で甚大な被害と想定を上回る多量の被災ごみが発生し、ご苦労されたことと思う。今後も同等以上の事態が起こりうるので、東日本大震災の件も踏まえ、専門家の方々からアドバイスをいただき、より万全な整備に結びつくことを願う。
61	中原区商店街連合会	区民祭において、商店街利用者の子供たちにゲームの無料参加券を配布してお菓子をゲットしてもらうイベントを実施している。また、中原区商店街連合会の一部の店舗が区民祭に出店している。	○かつては釣池公園に隣接して日本庭園があり、蓮が美しく咲いていた。また、トンボが飛び、小魚がいて癒されたものだが、いつのまにか埋め立てられ、大変ショックを受けた。ぜひ子供たちの為にも再整備してほしい。 ○多摩川の魚を観察できるミニ水族館を併設してほしい。 ○川崎市には植物園がないので、ぜひ植物園を新設してほしい。	民間活力の導入により、より良い市民のための施設として充実するものと思われるが、そのために利用料金が跳ね上がるのは感心しない。プール整備等の要望について、利用期間が短いことと維持管理にかなりの費用が掛かるのであまり賛成できないが、幼児と小学校低学年までを限定して楽しいプールをつくってあげられたらと思う。
62	小杉地区商店街連合会	中原区民祭	○非常事態用に蓄電池付の太陽光発電を備えた建物があると良い。 ○バイオマストイレを置き、非常事態時に開放してもらいたい。	

等々力緑地再編にあたっての、等々力町内会からの重点要望事項と提案事項

令和2年2月22日 等々力町内会会長 荒居義次



等々力町内会からの重点要望事項

町内会として要望する事項を4項目にまとめました。

1. 廃止する予定の公道(小杉十字路と町内会を結ぶもの)に準じた代替園路の確保。

- ・「24 川建等再第89号」の確認書回答にある園路の実現。
- ・すべての車両が、低速で安全に通行できるものが望ましい。

2. 等々力町内会付近のバス停留所の実現。

地域住民の交通手段として、「市民ミュージアム」よりも等々力町内会寄りの位置のバス停を要望。
上項の代替園路を使用して等々力緑地内の各施設に停車することで、施設へのアクセス向上も見込める。

3. 等々力町内会の近くに、日常品の買い物ができるショップを誘致。

地域活性化・利便性向上のために、等々力町内会周辺(まいばすけっとより近く)へのショップ誘致。
ミニスーパーが望ましい。スポーツ施設が多いため、スーパー銭湯の併設も有効であると考えられる。

4. 夜間照明の充実と、防犯カメラの設置。

近隣生活者や等々力緑地利用者の安全・安心のために、夜間でも十分な明るさを確保すること。
また、犯罪抑止のために防犯カメラを隈なく設置すること。

町内会で望んでいることは、「利便性の向上」と「安全の確保」に集約されます。

廃止予定の道路は、中原小学校への通学路としても利用されております。(代替路も通学路になる予定です)
「車・バスの通行による人の目」「誘致ショップへの来客による人の目」「夜間照明」「防犯カメラ」は、子どもの安全のために効果を発揮すると考えております。

等々力町内会からの提案事項

町内会で意見のあがったもののうち、個人レベルの要望です。
等々力緑地再編の際に考慮に入れていただければ幸いです。

公園施設運営に対する要望

- 同規模他公園と同等の施設整備・管理の充実。
(駒沢公園・砧緑地と同程度のものを希望)
- フロンターレの試合に伴う渋滞・騒音・ゴミ対策。
- 公園管理を施設ごとではなく、一元化してほしい。
A) 等々力インフォメーションセンターの実現。
B) 動物管理対応(犬・猫・鳥獣保護)の一元化。
- 近隣町会のボランティアが活動している事項について、公園側と協議の場を設けてほしい。
A) 草・枯枝・投棄ゴミの、公園側の清掃計画。
B) 花壇管理ボランティア同士の協議の場。
C) 児童公園清掃の町会委託と改善提案への柔軟な対応。

多摩川河川管理者と協議して進めてほしいこと

- 多摩川河川敷のサイクリング道の舗装拡幅整備、ジョギングコースの整備。
- 多摩川河川敷と等々力緑地を橋とスロープで連結し、河川敷と緑地の分断をなくす。

公園施設に対する要望

- 道路・園路の舗装面に自転車走行帯を表示。
- 等々力プールの再現。
- フロンターレ試合時の駐輪場不足の解消。
(試合時には道路・園路が通行止めになるので、アスファルト舗装のうえを臨時駐輪場にする等)
- 施設の安全対策のため、競技場・野球場の以前の計画にあった、「緊急避難デッキ」を再検討する。
- ドッグランの実現。
- 釣池のかいぼり清掃による水質の改善。

中原警察署と協議して進めてほしいこと

- 公園内のパトカー夜間巡回監視の継続。
(公園内の安全と、ゴミ不法投棄の抑止のため)
- 公園内交差点のラウンドアバウト化の検討。

以上です。

生活者目線での安全な街づくり

桜並木の保全と安全な自転車道・ジョギングコースの確保

等々力町内会の重点要望(2020年2月役員会)

以下四点でした。

- 1 廃止した公道(小杉十字路と町内会を結ぶ)に準じた代替園路を確保(覚書)。
 - ① 必要な車両は低速で安全通行でできるもの。中原小学校への通学路。
- 2 武蔵小杉と結ぶバス停を等々力町会居住地至近に新設。(バスの等々力緑地公園内に周回で、公園全域と高齢居住者の活性化・アクセス改善)
- 3 等々力町会の近くに日常品の買い物ができるショップを誘致。
 - ① 「まいばすけっと」とどろきアリーナ前店より近く、業態は問わない。
- 4 夜間でも充分な明るさを確保し、防犯カメラを隈なく設置。
 - ① (近隣生活者へも安全配慮された公園にする事。)

1. 公園施設に対する要望

1	公園内の道路・園路の舗装面に自転車走行帯を表示。	
2	等々カプールの再現。	
3	J1 フロンターレの試合に伴う駐輪場を舗装面に表示。	
4	以前のプランに有った競技場・野球場の緊急避難デッキの再検討(安全対策)。	
5	ドッグランの実現。	
6	釣り池のかいぼり清掃による水質の改善。	

2. 公園施設運営に対する要望

1	駒沢公園・砒緑地と規模同等の公園として整備し、管理すること。
2	等々カインフォメーションセンターの実現。
3	フロンターレの試合に伴うゴミ投棄・渋滞・騒音対策の徹底。
4	(除草・枯枝・投棄ゴミ)清掃管理計画を近隣町会と協議してほしい。
5	公園花壇管理計画の各委託先ボランティア責任者の協議体の設立。
6	動物管理対応(犬・猫・鳥類保護)の一元化。
7	児童公園(小規模エリアの・プレイロット)の清掃町会委託と改善提案への柔軟対応。

3.* 多摩川河川管理者と協議して進めて欲しいこと。

1	多摩川河川敷のサイクリング道の舗装拡幅整備、ジョギングコースの整備。
2	多摩川河川敷と緑地を橋とスロープで連結。(沿線道分断の解消対策)

4. 中原警察署とも協議して進めて欲しいこと。

1	公園内のパトカー夜間巡回監視(公園内の安全とゴミ不法投棄)
2	公園内交差点のラウンドアバウト化検討

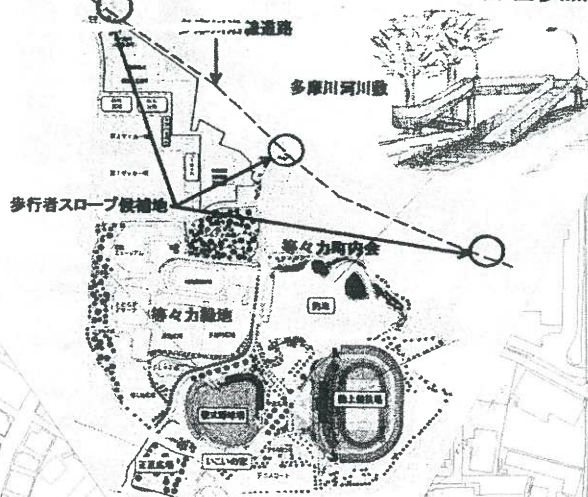
環状交差点における車両等の交通方法の特例に関する規定の整備

平成26年5月1日施行



等々力大橋(目黒通りと多摩川沿線道路を結ぶ)
令和7年3月架橋予定 都第二建設局施工

等々力緑地と多摩川河川敷を歩行者スロープで一体化(下図参照)



多摩川との歩道スロープ整備

自転車と歩行者の信号待ちを無くす多摩川沿線道路に交差する専用スロープを整備し、ランニングと自転車コースを、多摩川と公園の一体的整備で格段にリッチな存在に高める。

下水処理場プラント工事も含め
2025年3月頃に斜線部分の公園移管

多摩川歩道の整備

大田区側の、多摩川土手整備を参考に、川崎側も道幅も広げ舗装して使い易く整備します。

リニア非常口工事
等々力児童会館 2023年6月頃

JX社員寮

等々力、小杉陣屋町2丁目の風致地区・緑地区域内の住宅・工場に住んでいる人にも近隣と同等の永住権を確保させる運動。

ゴミ不法投棄や園路整備について

ゴミ不法投棄対応等公園管理上の問題点を地元住民が指摘し、安全で気持ちよい公園維持へ連携、速やかな維持改善を働きかけます。

硬式野球場完成時

S=1/4000(A3)

等々力町内会と、等々力緑地のつながり

等々力緑地と等々力町会は、町会創設以来約60年のつながりがあります。

代表的なイベントは小杉神社例大祭。

小杉神社例大祭において、小杉神社を出た神輿は、まず等々力町会の神酒所を目指します。



小杉神社周辺



陸上競技場とテニスコートの間



建設中野球場と陸上競技場の間



等々力町内会神酒所周辺

覚書で約束していただいた代替園路が作成されなかったり、ルート変更になった場合、こういった歴史ある文化が失われてしまう可能性があります。

近年では、小杉神社例大祭の前日に、宵宮祭を開始するようになりました。

宵宮祭では、宮内中学校の吹奏楽部にも協力していただきました。

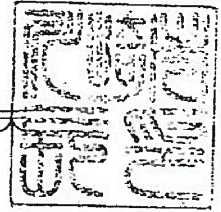
単なる一町会のイベントとしてだけではなく、等々力緑地を中心とした、周辺地域の輪を作り出せればと考えております。



24川建等再第89号
平成24年10月24日

等々力町内会
会長 寒河江富夫 様

川崎市長 阿部孝夫



等々力緑地再編整備に対する確認書について（回答）

日頃から公園事業の推進に御協力いただき厚くお礼申し上げます。

「2012年7月31日付等々力町内会臨時総会決議事項」について次のとおり回答いたします。

また、等々力緑地再編整備の推進にあたり、今後とも周辺町内会の皆様方と事業の進捗に合わせて話し合い等を行いながら進めてまいりたいと存じますので、御理解と御協力の程、よろしくお願いいたします。

- 1 現在の中央園路については、道路法に基づく道路（公道）の廃止手続きを進めてまいります。陸上競技場メインスタンド及び硬式野球場の整備期間中も周辺にお住まいの皆様及び公園管理車両の通行が可能な仮設園路を確保してまいりたいと考えております。
- 2 硬式野球場整備後は野球場北側に車両の通行が可能な園路（以下、「代替園路」という。）を整備します。整備位置については別添図に示す位置を基本とし、周辺施設の整備と調整を図るとともに、周辺町内会の皆様と協議を行いながら検討を進めてまいりたいと考えております。
- 3 代替園路については、車両及び公園利用者がそれぞれ安全に利用できる形態として整備するものとし、整備形態については周辺町内会の皆様と協議を行いながら検討を進めてまいりたいと考えております。
- 4 代替園路については、周辺にお住まいの皆様及び公園管理車両が通行することを基本とし、イベント時の通行止めなど運用方法については周辺町内会や施設利用団体の皆様と協議を行いながら検討を進めてまいりたいと考えております。

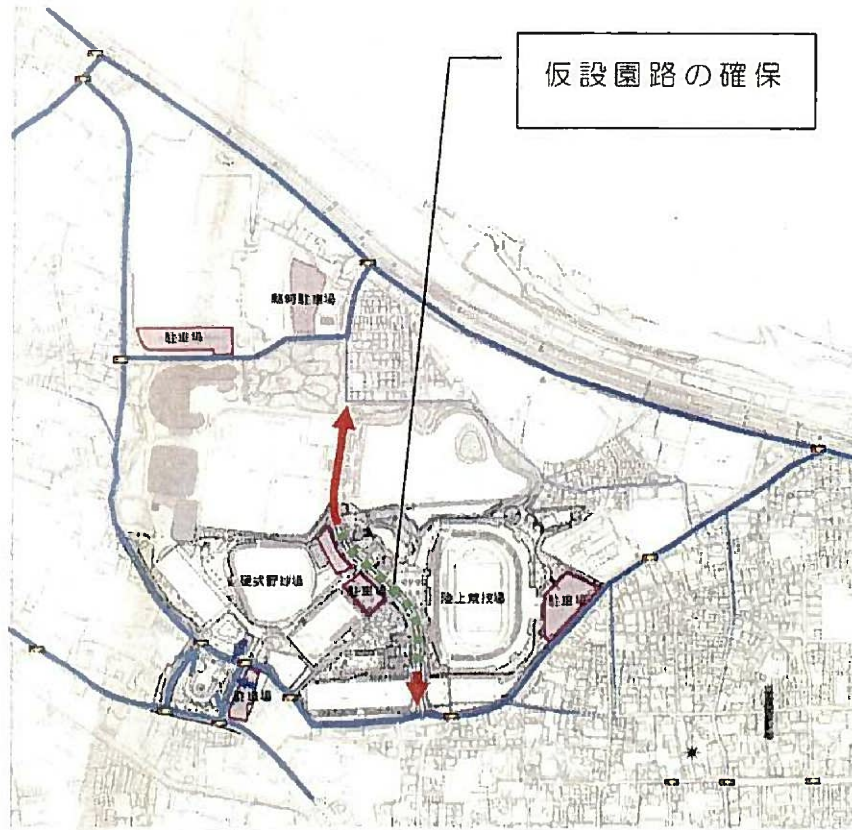
（建設緑政局等々力緑地再編整備室担当）
電話（044）200-2408

整備期間中

陸上競技場第1期及び硬式野球場の整備を行う期間については、仮設園路を設けながら車両の通行機能を確保する。

→ 現状道路形態
のまま利用

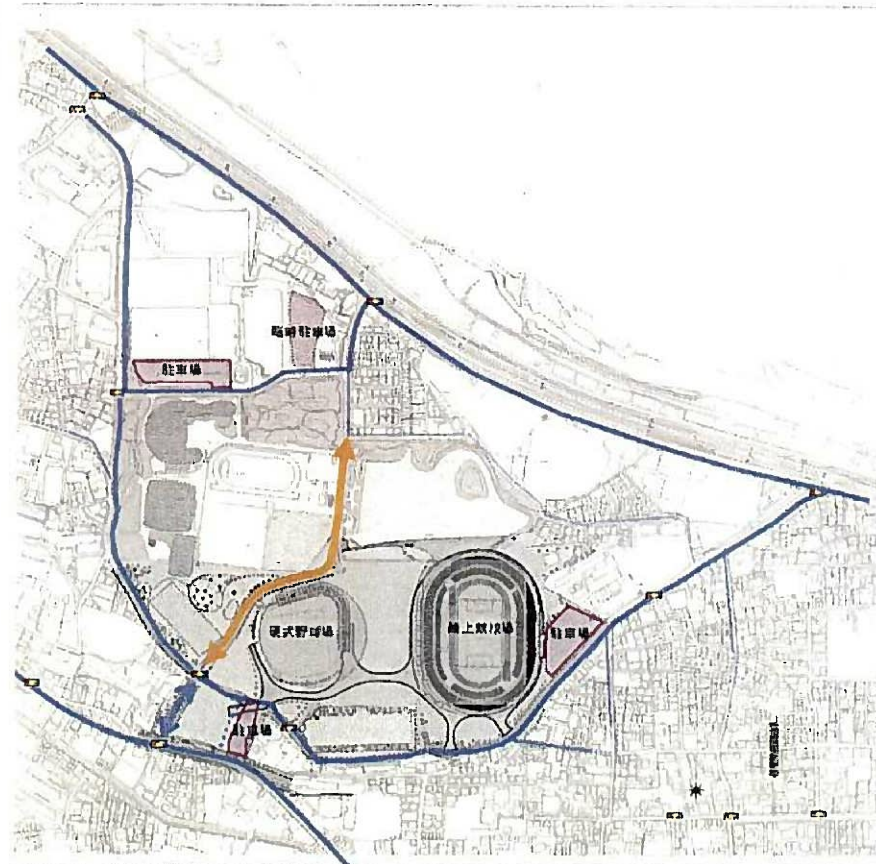
仮設園路の確保



硬式野球場整備後

硬式野球場北側に車両の通行が可能な代替園路を整備する。

↔ 代替園路



2012年7月31日 等々力町内会臨時總會決議事項

1. 等々力町会から南方への公道の代替として新しい車道を設ける。
2. 新車道設置位置は小杉神社から宮内保育園の間とする。
3. 新車道は現状公道と同様の歩道を有し安全な構造とする。
4. 新車道は何人も通行できるものとする。「園路」か「公道」かは問わない。
5. 上記が市との間で文書でされない限り廃道に反対する。